

会長のページ 新専門医制度について	河野 雅行	3
日州医談 県立宮崎病院における医師臨床研修について	上田 章	4
就任挨拶 宮崎大学医学部教授就任挨拶	柳田 俊彦	7
随 筆 曾祖父と清水次郎長	渡邊 康久	8
すぐ返事を	谷口 二郎	10
エコー・リレー(47)	入澤 壮吉, 由浅 充崇	11
メディアの目 宮崎を回る	森本 博樹	16
宮崎大学医学部だより(発達泌尿生殖医学講座小児科学分野)	澤田 浩武	20
部会だより(産業医部会)	佐々木幸二	21
医師国保組合だより 第19回歩こう会に参加して...	佐藤 信博	30
診療メモ 「心臓が悪くても元気で長生きできる！」		
～心臓リハビリテーションのすすめ～	渡邊 玲子	66

表彰・祝賀	6
あなたできますか?(平成25年度医師国家試験問題より)	12
宮崎県感染症発生動向	14
各都市医師会だより	18
各種委員会(予防接種委員会)	23
平成26年度都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会	24
日医インターネットニュースから	26
薬情報センターだより(336 新薬紹介(その7))	28
医師国保組合だより	32
理 事 会 日 誌	34
県 医 の 動 き	39
追悼のことば	40
会員の異動・変更報告	43
ベストセラー	46
ドクターバンク情報	47
行 事 予 定	51
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	55
宮大医学部学生のページ	68
あ と が き	72

お知らせ 「はまゆう随筆」原稿募集	13
第16回宮崎県医師会医家芸術展作品募集!	17
医師資格証を持っていますか?	22
クールビズについて	25
県医師会在宅医療協議会入会のご案内	38
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	53
郡市医師会への送付文書	70

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：色鉛筆絵〕

川べりの風景

この度、私の作品を日州医事の表紙に選出
していただき誠に有り難うございます。ヨー
ロッパの川べりの景色を描いたカレンダーの
油絵がとても気に入り、それをモチーフにメ
ルヘン調にアレンジしたものです。今回を励
みに、さらに精進していきたいと思います。

宮崎市 黒川基樹

会長のページ

新専門医制度について

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

明確な統一した基準がない各学会が、独自の制度設計の元に認定している現在の専門医は 80 以上あり、種々の問題があると指摘されている。そこで、第 3 者機関を設立して統一した基準による、新専門医制度の考えが浮上してきた。

1) 専門医の質を担保 2) 患者に信頼され、受診の良い指針になる 3) 専門医が公の資格として国民に広く認知・評価される 4) プロフェッショナル集団としての医師が誇りと責任を持ち、自律的に運営する制度 を基本理念として、具体的な案を練る検討委員会が立ち上げられ下記の報告がされた。

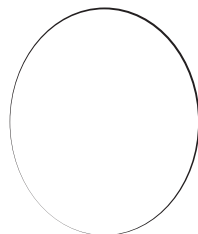
医師は 19 の専門領域のいずれか 1 つの専門医を取得する。専門医の認定は、経験症例数等の活動実績を要件とし、更新の際にも同様とする。第 3 者機関が認定する専門医を広告可能とする。新専門医制度に期待される効果として、専門医の質の一層の向上、医療提供体制の改善が挙げられている。

現在の専門医制度の問題の一つとして、専門医であるが故に自分の専門領域以外には手を出さないし、他科への遠慮や社会情勢(特に訴訟問題)から手が出せない。一般市民の専門医指向もある。古くは地域毎に数人の医師(一般医)が居ればプライマリ・ケアは事足りた。今では専門医として細分化されたために倍の医師が居ても足りない。しかし、過去に何でも診てもらえる便利な一般医は、一方では「開業医・町医者」として、一段低く見られる風潮があった。まず、この医師同士や市民意識を改革する必要がある。今回改訂の眼目の一つは、その町医者を総合診療専門医として、社会的立場を明確にしたことではあるが、懸念もある。今後は総合診療医でなければプライマリ・ケアにはタッチできない風潮にはならないか。総合診療医が増えて偏在なく地域への配分がなされれば、地域医療の医師不足が随分と緩和される反面、総合診療医を志す医師が増えることに反比例して、他科専門医への希望者が減りはしないか。更に、各科の専門医を育てるには、指導医・設備等々の基準を満たした条件下での経験症例数が必須としてある。条件の揃った、いわゆる大病院は大都市に多く集中しているため、専門医取得希望の医師は、必然的に大都市に集中してしまうのではないか。そうなれば地方の医師不足がますます深刻な事態になると危惧される。研修要件緩和、カリキュラムの組み替えが必要であろう。例えば、大都市病院と地方病院との相互乗り入れ研修や、一定期間の過疎地勤務の義務化等はいかがか。

新専門医制度下での医師養成開始は決定されている。時代の変遷と共に制度の見直しは必要ではあるが、途中で急激な制度変更がなされると、現場は混乱するばかりである。施行前に十分な検討を加えて、少なくとも現時点での懸案事項は解決・払拭しておいていただきたい。

(平成 27 年 4 月 20 日)

日州医談



県立宮崎病院における医師臨床研修について

理事 うえだ あきら
上 田 章

宮崎県医師会は「県内研修医の確保」に取り組んでいる。今回は一般研修病院としての県立宮崎病院の医師臨床研修の現状について述べる。

これまでの歩み

当院は大正10年10月1日に開設され、昭和47年より臨床研修病院の指定を受けている。平成16年度に新しい研修制度が始まると同時に管理型(現在は基幹型に名称変更)研修病院に指定され、毎年5～10名程度の研修医を受け入れ、4月6日現在、1年次1名、2年次1名の合計22名の研修医が各診療科で研修を行っている。はじめ当院で精神科の研修ができなかったが、平成2年度に精神医療センターが設置され、平成2年度には救急専任医師が赴任し、研修体制が充実しつつある。平成2年度からは後述の3宮崎県立病院共同プログラム(フェニックス)を新たに設けるとともに、宮崎大学病院で3か月研修できる制度の創設等の改善も図られた。

プログラムと実績

次の5つのプログラムで研修医を受け入れている。

基幹型1. 県立宮崎病院群卒後臨床研修プログラム：1年次の内科(6か月)と救急(3か月)および2年次の地域医療(1か月)を必修、外科(2か月)、麻酔科(3か月)、産婦人科(2か月)、小児科(2か月)および精神科(1か月)の5つの中から2つ以上を選択必修とし、残りの期間は自由に選択できる自由度の高いプログラムである。地域医療研修は国民健康保険西米良診療所、椎

葉村国民健康保険病院および美郷町国民健康保険西郷病院の3医療機関に、精神科は当院のほかに高宮病院の協力を得ている。また、自由選択期間に宮崎大学の各診療科で3か月間研修することもできる。平成26年度のマッチングでは、定員10名に対してマッチング者10名のフルマッチであった。宮崎県の高校を卒業し他県の大学を卒業後帰宮する研修医が多い傾向にある。

基幹型2. 宮崎県立病院群フェニックスプログラム(フェニックス)：宮崎、延岡および日南の3県立病院の特徴を生かした研修を行うことができるプログラムで、宮崎病院8か月以上、延岡病院および日南病院6か月以上、地域医療1か月で残りは自由選択としている。内科、救急、地域医療に加えて精神科(1か月)を必修、外科(2か月)、麻酔科(3か月)、産婦人科(2か月)および小児科(2か月)の4つの中から1つ以上を選択必修に、残りは自由選択としている。平成2年度にスタートし、平成26年度は募集4名に対してマッチング1名であった。

自治医科大学卒業生のプログラム(自治医大型)：自治医大卒業生のためのプログラムで、大学からの要請で、内科、救急、外科、麻酔科、産婦人科、小児科、精神科、地域医療のすべてが必修で、残りが自由選択となっている。平成2年度は1名が研修している。

協力型1. 協力病院―九大病院プログラム(九大協力型)：いわゆる「たすき掛け」プログラムで、1年次あるいは2年次の1年間当院で研修を行

うプログラムで、平成 27 年度は 1 年次研修医 1 名、2 年次研修医 1 名が研修している。

協力型 2. 宮崎大学医学部付属病院卒後臨床研修自主デザイン研修プログラム(宮大協力型)：診療科単位での研修を受け入れるプログラムで、平成 27 年度は 8 名(精神科 7 名、外科 1 名)、2 年次 7 名(小児科 5 名、救急科 3 名、産婦人科 2 名、精神科 2 名、内科 1 名、皮膚科 1 名、重複を含む)が研修を行う予定である。

研修医の確保に関する募集活動(病院説明と病院見学)

ホームページの充実、3 県立病院バスツアー、九州厚生局主催の病院説明会、レジナビフェア(福岡・大阪・東京)、e レジフェア、宮崎大学病院説明会、九州大学病院説明会、自治医大生説明会などのあらゆる機会に参加するとともに、医学生の実地研修を積極的に受け入れている。

研修の特徴

①一般病院として研修に関する伝統・ノウハウの蓄積・職員の教育に対する意識がある、②救急研修の充実、③手技を中心に実践力が身に付く、④学会活動に熱心な指導医も多く学会等での発表ができる、⑤研修医は宮大卒業生だけ

でなく、県外の大学を卒業した者が多く刺激が多い、⑥専門医取得につながる、⑦立地条件が良い、などの利点がある。

今後の課題

ひきつづき初期研修医を確保し、優れた研修医を育てるとともに、本年度からの研修医を対象とした専門医制度が 2 年後に新たにスタートする予定であるので、これに向けて準備する必要がある。

最後に

宮崎県には 7 つの基幹型研修病院があるが、大学と当院以外で研修を行う者は多くない。全国のマッチ者数は 8,399 人(大学病院 43.7%、一般病院 56.3%)であり、人口比(0.877%)で計算すると宮崎県の研修医数は 73.7 人(大学病院 32.2 人、一般病院 41.5 人)となる。過去 1 年間の宮崎県の実績は平均 45.0 人(大学病院 34.4 人、一般病院 10.6 人(うち当院 7.4 人))であり、大学病院は健闘している。宮崎県の研修医不足・医師不足を解消するためには、5～10 人程度の研修医を受け入れることができる一般研修病院の充実が望まれる。

表. 宮崎県立宮崎病院におけるマッチング結果の推移 (人)

年度(平成)	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
基 幹 型 1	9	7	9	7	4	6	7	5	8	6	8	10
フェニックス	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1	1	1
自治医大型	2	1	1	1	2	2	1	1	5	2	0	1
九大協力型	2	2	2	1	0	1	2	1	4	1	0	3
宮大協力型	0	3	5	7	7	9	10	10	14	27	21	15

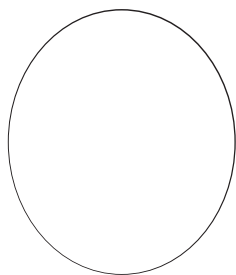
表彰・祝賀

公衆衛生事業功労により厚生労働大臣表彰

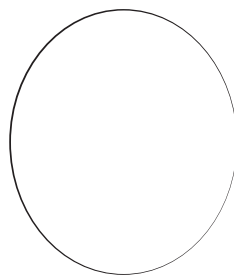
こ だま さね し 先生（都 城）
児 玉 實 志
あい ざわ きよし 先生（西 都）
相 澤 潔

平成2年3月19日、公衆衛生事業に係る功績により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



児玉 先生



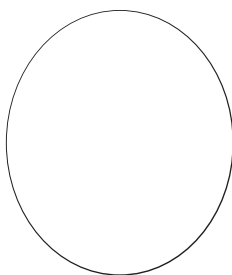
相澤 先生

公衆衛生事業功労により日本公衆衛生協会会長表彰

はま だ よし おみ 先生（都 城）
濱 田 義 臣

平成2年3月19日、公衆衛生事業に係る功績により日本公衆衛生協会会長表彰をお受けになりました。

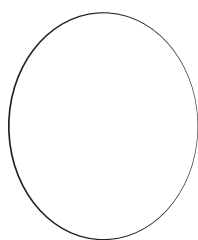
衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



濱田 先生

就 任 挨 拶

宮崎大学医学部教授就任挨拶

成人・老年看護学講座臨床薬理学分野教授 ^{やなぎ}柳 ^た田 ^{とし}俊 ^{ひこ}彦

平成 26 年 1 月 1 日付けで、医学部看護学科 成人・老年看護学講座 臨床薬理学分野教授に就任しました柳田です。臨床薬理学分野は新設分野であり、母校宮崎大学において、研究教育活動の機会をいただきましたことに深く感謝しております。よろしくお願い申し上げます。私は、昭和 40 年宮崎生まれで、宮崎大宮高校を卒業後、宮崎医科大学に 1 期生として入学しました。平成 2 年に卒業後、本学泌尿器科教室(長田幸夫教授)に入局、入局 4 年目の平成 5 年から大学院進学をいただき、薬理学教室(和田明彦教授)において研究を開始し、大学院修了後は、薬理学において研究・教育を行ってまいりました。

平成 26 年 4 月の宮崎大学医学部修士課程大学院の再編成に伴い、これまでの「医科学看護学研究科看護学専攻」が「看護学研究科」として独立することとなり、平成 26 年 1 月より宮崎大学医学部では医師として初めて看護学科に配属となりました。看護学修士課程は、「看護学専攻」として医学部保健学科や保健学部などの大学院修士課程の一専攻の形を取ることが多く、「看護学研究科」としての設置は全国でも 2 番目です。平成 26 年 4 月 1 日からは、看護学科長を拝命しておりますので、この機会に看護学科の紹介をさせていただきます。

医学部看護学科は、平成 13 年度に開設され、平成 27 年 3 月に第 1 期生が卒業、同年 4 月に第 1 期生を迎え入れました。1 学年 60 名ですが、3 年次から最大 10 名の編入学が可能ですので、毎年 65 名程度が卒業しています。卒業生の 3 分

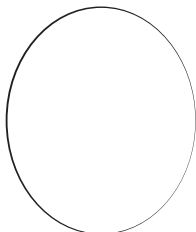
の 1 は、本学附属病院に就職していますので、これまでに 200 名を超える看護師が、本学附属病院に就職したことになります。また、保健師や大学院進学を合わせると、約半数の学生が宮崎県内の医療教育機関を選択しています。

看護師が関わる医療事故・医療訴訟のうち、4～5 割が薬物治療に関係することが知られています。私の担当は薬理学ですので、今後は、“薬物治療に強い看護師の育成”をテーマに教育研究活動を進めてまいります。各医療機関において優秀な看護師がいっぱいいましたら、ぜひ本学修士課程への進学をご推奨ください。看護学修士課程の定員は 10 名で、研究者育成コース(5 名)と実践看護者育成コース(5 名)からなります。実践看護者育成コースの場合は、「助産師の国家試験受験資格」や「がん看護専門看護師の認定申請資格」を得ることができます。

話は変わりますが、平成 26 年 4 月より、附属病院の治験を担当させていただいております。宮崎大学の治験業務は、平成 26 年 4 月より、「治験管理センター」から新たに設置された「臨床研究支援センター治験部門」へと移行されました。被験者、実施医師、製薬企業の橋渡しとして、迅速かつ丁寧な治験の実施とサポート体制の充実を心がけてまいります。

最後になりましたが、宮崎県医師会の諸先生には、このようなご挨拶の機会を与えていただきましたことに感謝申し上げます。“薬物治療に強い看護師の育成”や“治験・臨床研究の活性化”を通じて、宮崎大学医学部の研究・教育・臨床活動に少しでも貢献できればと願っております。ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

随 筆



曾祖父と清水次郎長

日向市 三股病院 渡邊 康久

私の先祖の話で恐縮ですが、面白いご縁を知りましたので綴らせていただきます。

私の曾祖父渡邊良三(弘化2年(1845年)9月8日生, 大正10年7月3日死亡)は, 高知の医家渡邊家の八代目を継ぎました。しかし, 「このせまい須崎(高知県)では, たかが知れている。首都東京に出て一旗あげたい」と, 始祖来八代築いた地盤と高知県須崎市鍛冶町自宅付近の家や土地を全部残し上京, 日本橋呉服町10番地で開業しました。

渡邊家の始祖渡邊林庵は, 享保7年(1722年)1月29日に7歳で死去, 始祖死後, 二代目林庵, 三代林花(明和5年8月23日亡), 四代柳伯勝利(文化5年9月5日亡), 五代柳濟(天保7年5月7日亡), 六代子文(明治元年8月2日亡), 七代命平(死亡日不詳)と引き継がれました。

家に八代良三が東京で死亡した年の現状届が残っています。

族稱氏名	現狀届(一部抜粋) 高知縣平民 渡邊良三 弘化二年九月八日生
一 男女ノ別	男
一 免許證得タル資格	醫術開業試驗二合格
一 免許證ノ番號竝下付ノ年月日	第壱八七四号 明治拾七年五月壱日
一 開業場所	東京市本郷区駒込迫分町参拾番右及御届候也 大正拾年参月二十二日
	渡邊良三 東京府知事 阿部 俊 殿

先日, 妻がこれを見て, 出てくるはずもない良三の名をインターネットで検索したところ, 清水次郎長のWikipediaに「土佐須崎鍛冶町出身の渡辺良三」と記載があり, また, 数々の文学賞(吉川英治文学新人賞, 新田次郎文学賞, 歴史・時代小説大賞等)を受賞されている諸田玲子氏の小説「波止場浪漫 上・下巻」(2013年4月から2014年7月まで日本経済新聞に連載, 2014年12月1日に日本経済新聞出版社より第1刷発刊)にも良三が登場していることを知りました。

その本を早速買い求めて読んでみると, 良三は清水の次郎長こと山本長五郎に頼まれて(Wikipediaによると横浜から土佐に向かう船上で知り合ったとあります), 静岡県有渡郡清水町に開業することになったようです。良三は, 東京でも開業していて東京と清水を行き来しなければならなかったため, 同郷の後輩の植木重敏先生を助けに呼んで一緒に開業していました。済衆医院と看板を掲げていたようです。「清水には西洋医がおらん, 名医を連れてこにゃならん…」というのが, 次郎長の当時の口癖だったそうです。

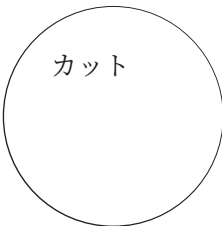
小説の内容は, 良三と一緒に開業した後輩の植木重敏先生と次郎長の娘(山本けん, 養女)との切ない恋を描いたもので, また, 平成に生きる人たちのルーツを照らすものです。

作者の諸田さんは次郎長の末裔になられるようですが, 母方の祖母の祖母が次郎長の姪で次郎長の養女になったそうです。

この小説の参考文献の一つに「次郎長が作った
済衆医院と土佐の医師～渡邊良三と植木重敏～」
植木豊著とありますが、植木豊さんは、植木重
敏先生の末裔で、ためしてガッテン立ち上げ等
NHK のディレクター、プロデューサーを経て、
現在はNHK エデュケーショナル科学健康部統括
部長をされていらっしゃるようです。

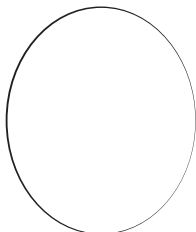
私の祖父九代渡邊義久は、日向市で開業し、
医療福祉のために尽くしました。

私は、まだ、高知県須崎市や静岡県清水市を
訪れたことはありませんが、先祖が残した足跡
にご縁を感じ、いつか訪ねてみたいと思ってい
ます。



カット

随 筆



すぐ返事を

宮崎市 たにぐちレディースクリニック 谷 口 二 郎

谷口家の家訓に、人からモノを頂いた時や手紙などを受け取ったらすぐ返事を書くというのがある。小さい時からそう躰けられてきたので、当たり前の習慣と思っていた。

その為、いつでも礼状や返事が出せるように、机の上には洗濯バサミに挟まれたお手製のオリジナルハガキが置いてある。なぜ洗濯バサミに挟んであるのか？それはただ机の上に置いてあると、他のモノにまぎれてしまったり、探すのが面倒臭いと思うからである。すぐに書かないと出しそびれたり、結局出さなかったりしてしまう。返事を書くというタイミングは、すぐでないとテンションが上がらないからだ。

お中元やお歳暮が宅急便で届くと、その送り状を切り取り、洗濯バサミに挟んで机の上に置いておく。時間を見つけては、必ずその日のうちにお礼のハガキを出す。洗濯バサミは必需品なのである(ちなみに洗濯バサミは20個100円位で百元ショップで売っている)。

プレゼントを送った方も、そのハガキを受け取れば無事着いたんだと分かるし、喜ぶと思うからだ。

患者紹介の場合も同じである。里帰り分娩で帰って来られた際、必ず紹介状を持って来られる。そういう場合必ず来院したという返事を出すようにしている。

又、分娩をしたらその日のうちにお礼を兼ねた返事を出す。出した事が抜けるのを防ぐために、カルテの下の所に〇月〇日返事済みと記入する事になっている。うっかり忘れていないかチェックする為だ。

ところが最近紹介しても返事が来ない事が多い。ざっとした計算をしてみると、3割位は全く返事が来ない。多分紹介した患者さんは、そこを受診しているはずだ。せめてそこを受診したという返事くらいは欲しい。そしてその後の経過やサマリーを送って欲しいのだ。

今流行のSNSなどのように、メールを送ったら5分以内に返事を出さないとシカト(無視)されるので、常にスマホを手元に置いておかななくてはならないとまではいかないでも、そういう風な気持ちを持つ事が大切だ。

紹介しても返事がない時は、相手の先生の人格が疑われる事になる。多分ついうっかり忘れたという事ではなく、そういう習慣がないのだろう。

モノを頂いたり、紹介状を受け取ったら、すぐに返事を出す。そういう繰り返しがその人の信用を高め、信頼されるという事に繋がるのではないだろうか。

是非ともモノを頂いたり、紹介状を受け取ったら、その日に返事を出して欲しい。

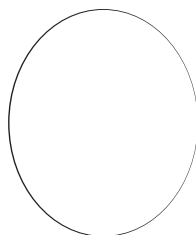
エコー・リレー

(47回)

(南から北へ北から南へ)

海礼賛

日向市 協和病院 入 澤 壮 吉



宮崎県には全国に誇るべきあまたの自然が今に残る。都市部や山間部での生活が長かった私にとって、なかでも海、とりわけ魚介類の豊富さにはいまだに驚かされることが少なくない。

いまだ早朝の冷気が残る時間帯一飲み過ぎた翌日覚醒していたとしても、意識は混濁している時間帯ということデスー、近所の港には大小の漁船が帰港していた。築地でみかけるような、血走った眼をした恐ろしい仲買人とは対極的な仲買人が、スローペースと言ってもよいテンポで競っている。裏には、水揚げされた興味深い海の隣人たち。漁師や仲買人の邪魔にならぬよう、細心の注意を払いながら歩を進める。マグロやサメなどの大型魚がズラリと並ぶエリア。底引き網のエリアには図鑑でしか見たことのないレアなヤツ。

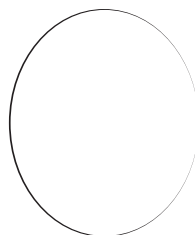
ふと視界の端に何かが飛んでいくのが目にとまる。漁港に集う鳥類かと思えば、それもなんと魚なのである。様々な魚の隣人をつかんで投げる漁師におそろおそろ声をかけると「売れんもんはこうしてエサにしちよっとよ」と。売れないと言ってもその中にはアナゴやヤガラ姿もちらほら。数がそろわないというだけで高級魚と言っても差し支えない魚種である。恥ずかしながら、なんとも残念無念な面持ちをしていたようで、「兄ちゃん、ほしかったらやろ」とありがたいお言葉が。アナガにヤガラ、おまけのシタビラメまで、タダである。

宮崎、最高。

[次回は、日向市の堀 弥生先生をお願いします]

魚のいない川

高鍋町 海老原総合病院 整形外科 由 浅 充 崇



ここ宮崎の川では鮎を釣ることができます。なんと幸せなことでしょう。私は鮎釣り歴3年とまだあまちゃんですが、すっかり鮎中毒患者で、毎年鮎の友釣りができなくなる10月中旬には鮎ロスの放心

状態となり、6月の鮎釣り解禁までは海釣りなどで気を紛らわしています。毎年解禁後は同じ病院の面々と一ツ瀬川、綾川、そして五ヶ瀬川に繰り出し、尺鮎釣りを夢見る鮎バカです。

ところが近年、鮎梁でも有名な五ヶ瀬川の鮎が激減しているのです。去年は鮎を釣るどころか鮎の魚影自体をほとんど見かけませんでした。実際、漁協の委託調査の結果でも五ヶ瀬川の鮎の激減が明らかになりました。この原因として考えられるのが、昭和3年より県が特例として漁師に許可している河口部での稚鮎の捕獲です。捕られた稚鮎の多くが県外の養殖業者などに売られ、結果的にその川の天然遡上鮎の減少に繋がります。年々五ヶ瀬川の鮎に減少傾向はあったのですが、去年の減少は著しく、県の許可する捕獲量2,000kg/年を超す捕獲も疑われます。

県は漁協に対して鮎の義務放流量を定めていますが、そもそも鮎の漁獲量は放流量とは関連しないというデータがあり、如何に天然遡上鮎を増やすかが大事なのです。現在、漁協の働きかけに県は動いていないようですが、五ヶ瀬川が美しくも魚(鮎)のいない川になってしまわないよう願って止みません。

[次回は、宮崎市の吉富 健先生をお願いします]



あなたできますか？

— 平成25年度 医師国家試験問題より —

(解答は50ページ)

1. 肝細胞癌に対する肝切除後に残存肝の再生を促すのはどれか。

a 下 剤
b 輸 血
c 抗菌薬
d 経口栄養
e 抗悪性腫瘍薬

2. 同種骨髄移植から3週後にみられる移植片対宿主病(GVHD)の皮膚症状はどれか。2つ選べ。

a 紅皮症
b 皮膚硬化
c 浮腫性紅斑
d 多形皮膚萎縮
e 扁平苔癬様皮疹

3. 疾患とその症候の組合せで正しいのはどれか。3つ選べ。

a 先端巨大症 ——— 睡眠時無呼吸
b 中枢性尿崩症 ——— 低張性脱水
c Sheehan症候群 ——— 乳汁漏出
d Cushing病 ——— 筋力低下
e プロラクチノーマ ——— 不 妊

4. 6歳の女性。交通事故で頭部を強く打って搬入された。搬入後、頭痛を訴え嘔吐を繰り返しているうちに意識レベルが低下し、JCS III-100となった。右瞳孔が散大し、対光反射が消失している。心拍数62分、整。血圧180/90mmHg。呼吸数24分。SpO₂ 99% (マスク6 l /分 酸素投与下)。

診断のためにまず行うべきなのはどれか。

a 頭部CT
b 脳波検査
c 腰椎穿刺
d 脳血管造影
e 脳血流SPECT

5. 7歳の男性。人間ドックでPSA 8.3ng /ml(基準4.0以下)を指摘されたため来院した。PSAを再検したところ8.4ng /mlであった。直腸指診で、小鶏卵大、弾性硬および表面平滑の前立腺を触知するが、明らかな硬結は認めない。腹部超音波検査で前立腺体積は32mlであった。

次に行う検査として適切なのはどれか。

a 尿細胞診
b 腹部単純CT
c 前立腺針生検
d 骨シンチグラフィ
e 逆行性尿道膀胱造影

6. 58歳の男性。頑固な不眠と日中の眠気とを主訴に妻に伴われて来院した。2年前から熟睡感がないと訴えるようになり、日中の疲労感が強く、よく居眠りをするようになった。職場では上司から仕事の能

率低下を指摘されている。妻によると、2年前から夜間のいびきがひどく、時々呼吸が止まったようになるとのことであった。意識は清明。抑うつ気分や不安を認めない。身長165cm、体重90kg、体温36.7℃。脈拍88/分、整。血圧140/88mmHg。呼吸数14/分。SpO₂ 96%(room air)。咽喉頭に異常を認めない。心音と呼吸音とに異常を認めない。ポリソムノグラフィにて無呼吸指数48(基準5未満)。

この患者に行うべき対応として適切なのはどれか。

3つ選べ。
a 体重の減量
b 口腔内装具
c 間欠的強制換気(MV)
d 持続的気道陽圧法(CPAP)
e ベンゾジアゼピン系薬投与

7. ホルモンとその生理作用の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

a グルカゴン ——— 糖新生の促進
b インスリン ——— グリコーゲン分解の促進
c バソプレシン ——— 腎における水再吸収の促進
d アルドステロン — 腎におけるNa再吸収の抑制
e 副甲状腺ホルモン — 腎におけるP再吸収の促進

8. 空気感染を起こす病原体はどれか。2つ選べ。

a インフルエンザウイルス
b 風疹ウイルス
c 麻疹ウイルス
d 百日咳菌
e 結核菌

9. 5名の患者の血液検査所見を示す。

意識が清明である可能性が最も高いのはどれか。ただし、他に血液検査所見の異常はないものとする。

	Na (mEq / l)	尿素窒素 (mg /dl)	血 糖 (mg /dl)	血漿浸透圧(mOsm /l) (基準 275~289)
a	121	8	90	250
b	123	22	540	284
c	137	14	36	281
d	149	28	486	335
e	169	22	108	352

10. 高齢者の栄養管理について正しいのはどれか。

a 経管栄養剤の注入は仰臥位で行う。
b 口腔ケアは嚥下性肺炎の予防に有用である。
c 胃瘻からの経管栄養では誤嚥は起こらない。
d 経鼻胃管は胃瘻による経管栄養より不快感が少ない。
e 中心静脈栄養は経腸栄養に比較して感染症の合併が少ない。

「はまゆう随筆」原稿募集

7・8月号に夏の恒例となりました「はまゆう随筆」欄を企画致しますので奮ってご投稿をお願いいたします。毎年皆様に大変ご好評です。

題 材：診療閑話，私の趣味，旅行記，スポーツ談義，詩，短歌，俳句など何でも結構です。なお，本文に関連した写真・イラスト等も掲載できます。

字 数：800字以内（字数が多い場合は「はまゆう随筆」として掲載できないことがありますのでご了承ください）

締 切：平成 27 年 6 月 29 日(月)

◎原稿には「はまゆう随筆」である旨とタイトル，氏名を先頭に付記して下さい。

◎掲載については，広報委員会にご一任下さいますようお願いいたします。

◎掲載はおひとり 1 編とさせていただきます。

◎ご投稿の原稿が他誌に掲載，または投稿中の場合はその旨お知らせ下さい。

◎原則として原稿はお返しいたしません。返送を希望される方はその旨ご指示下さい。

◎原稿の内容については，人権・プライバシーに十分な配慮をお願いします。

◎日州医事は，会員以外(マスコミ・行政・図書館等)にも配布しています。

原稿は主にメールにて受け付けております。ワードまたはテキスト形式で作成・保存し，日州医事原稿専用アドレス(genko@m-iyazaki.med.or.jp)宛お送りください。もちろん，それ以外の方法(FAX，郵便等)でお送りいただいても構いません。

原稿送付・問合せ先

宮崎県医師会広報委員会 はまゆう随筆係

E-mail: genko@m-iyazaki.med.or.jp

〒 880 - 0023 宮崎市和知川原 1 丁目 101

FAX 0985 - 27 - 6550 TEL 0985 - 22 - 5118

宮崎県感染症発生動向 ～3月～

平成27年3月2日～平成27年3月29日(第10週～13週)

■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：○結核10例：保健所別報告数を【図1】に示した。

患者が6例，無症状病原体保有者が3例，疑似症患者が1例であった。患者はいずれも肺結核であった。性別は男性7例・女性3例で，年齢別報告数を【表1】に示した。

4類：○A型肝炎1例：宮崎市保健所管内で報告があった。40歳代で，主な症状として全身倦怠感，発熱，食欲不振，黄疸，肝腫大，肝機能異常がみられた。

5類：○ウイルス性肝炎1例：宮崎市保健所管内で報告された。70歳代でC型であった。主な症状として，全身倦怠感，褐色尿，肝機能異常，黄疸，食欲低下がみられた。

○後天性免疫不全症候群1例：宮崎市保健所管内で報告された。50歳代男性で無症候性キャリアであった。

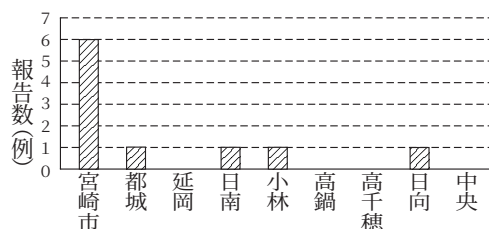


図1 結核 保健所別報告数

表1 結核 年齢別報告数(例)

20歳代	30歳代	50歳代	70歳代	80歳代	100歳～
1	1	2	2	3	1

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は3,813人(定点あたり101.7)で，前月比80%と減少した。また，例年の66%と少なかった。

前月に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎と手足口病で，減少した主な疾患はインフルエンザであった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はRSウイルス感染症であった。

インフルエンザの報告数は1,147人(19.4)で，前月の約0.3倍，例年の約0.3倍であった。日南(44.2)，小林(40.4)保健所からの報告が多く，年齢別では5歳未満が全体の20%，5～9歳が32%，10～14歳が20%，15～19歳が4%，20～59歳が18%，60歳以上が6%を占めた。

RSウイルス感染症の報告数は407人(11.3)で前月の約1.1倍，例年の約3.1倍と多かった。延岡(61.8)保健所からの報告が多く，年齢別では1歳が全体の約4割を占めた。

咽頭結膜熱の報告数は117人(3.3)で前月の約1.2倍，例年の1.1倍であった。日南(10.0)保健所からの報告が多く，年齢別では1～4歳が全体の約7割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は288人(8.0)で前月の約1.3倍，例年の約0.9倍であった。日向(15.3)，中央(14.0)保健所からの報告が多く，年齢別では4歳から5歳が全体の約4割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は1,456人(40.4)で前月の約1.1倍，例年の約0.8倍であった。小林(86.7)，中央(81.0)保健所からの報告が多く，年齢別では1～4歳が全体の約4割を占めた。

前月との比較

	2015年3月		2015年2月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	1,147	19.4	3,427	58.1	
RSウイルス感染症	407	11.3	365	10.1	★
咽頭結膜熱	117	3.3	95	2.6	
※溶レン菌咽頭炎	288	8.0	221	6.1	
感染性胃腸炎	1,456	40.4	1,303	36.2	
水痘	107	3.0	114	3.2	
手足口病	67	1.9	35	1.0	
伝染性紅斑	8	0.2	4	0.1	
突発性発しん	128	3.6	127	3.5	
百日咳	3	0.1	0	0.0	
ヘルパンギーナ	10	0.3	5	0.1	
流行性耳下腺炎	14	0.4	18	0.5	
急性出血性結膜炎	1	0.2	0	0.0	
流行性角結膜炎	50	8.3	31	5.2	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	3	0.4	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	7	1.0	1	0.1	

★ 例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■月報告対象疾患の発生動向 〈2015年 3 月〉

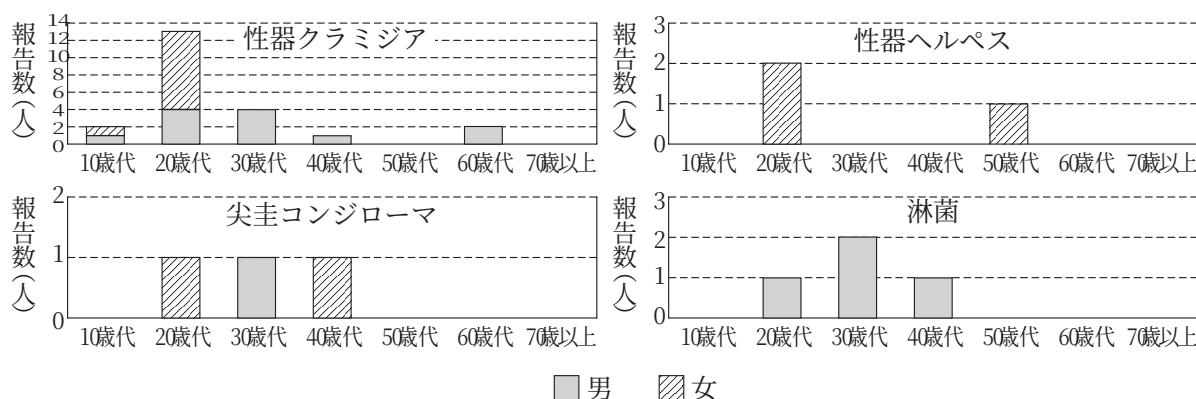
□性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は32人(2.5で、前月比91%と減少した。また、昨年3月(1.9)の約1.3倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数22人(1.7で、前月の約0.8倍、昨年3月の約1.4倍であった。年齢別では20歳代が全体の約6割を占めた(男性12人・女性10人)。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人(0.23で、前月の約0.8倍、昨年3月の1.5倍であった(女性3人)。
- 尖圭コンジローマ：報告数3人(0.23で、昨年3月の3.0倍であった(前月報告なし)(男性1人・女性2人)。
- 淋菌感染症：報告数4人(0.31で、前月の0.8倍、昨年3月の約0.7倍であった。30歳代が全体の半数を占めた(男性4人)。



□薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は18人(2.6で前月比62%と減少した。また昨年3月(4.0)の約0.6倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数18人(2.6で、前月の約0.6倍、昨年3月の約0.7倍であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告はなかった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。

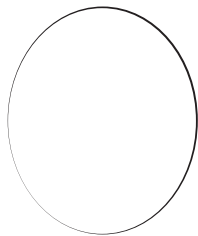
(宮崎県衛生環境研究所)

日州医事4月号13ページの中に1か所の誤りがございました。月報告対象疾患の発生動向のグラフのタイトルの一つを「尖圭コンジローマ」としていましたが、正しくは「淋菌」でした。お詫びして訂正いたします。

■病原体検出情報(微生物部)

	検 出 病 原 体	件
ウイルス	アデノウイルス1型	1
	インフルエンザウイルスA H3型	3
	コクサッキーウイルスA16型	1
	ヒトメタニューモウイルス	11
	ヘルペスウイルス1型	1
	ライノウイルス	1
細菌	RSウイルス	5
	Bordetella pertussis(百日咳菌)	6
	EPEC(腸管病原性大腸菌)(O167:HUT eae)	1
	Salmonella Schwarzengrund(O4:d:1,7)	1
	Salmonella Stanley(O4:d:1,2)	1
	Salmonella O4群型別不能(O4:i:-)	1
	Streptococcus pyogenes(A群溶レン菌)	1

メディアの目



宮崎を回る

西日本新聞 宮崎総局長

もり もと ひろ き
森 本 博 樹

このコーナーはちょうど1年ぶり。2014年5月号は「第77号」であった。あまりにも嬉しい数字が並び、久しぶりに宝くじを購入したものだった。今回は12回を足して「78号」。今度は数字が順番に並んだ。

来年、「80号」を私が記すことはないと思う。と言うのも、定年延長が切れ、宮崎を離れる可能性が高いからだ。で、今、宮崎の思い出作りに精を出している。昨年5月号のタイトルが「宮崎を歩く」。今回は「宮崎を回る」。「回る」を「ラウンドする」に置き換えた方が分かりやすい。早い話がゴルフ。宮崎県内にあるコースを全て制覇しよう、と思いついたのが今年の今ごろだ。ラウンド数はひと月平均2～3回。河川敷や9ホールのコースを除き、以前から含めて行っていないのは3コースとなった。宮崎県内のゴルフ場を回れば回るほど、その良さが分かり始めている。

県内のプレーヤーには当たり前かもしれないが、県外の身には宮崎はゴルファー天国。素晴らしいコースが多いうえに、とにかく安い。もちろん、例外はあるが。平日だと、食事付きで6,000円前後。1日回り放題の食事付きで4,000円台というコースもあったし、1ラウンド

後の9ホールが1,080円というゴルフ場にも出くわした。

私はマイカーを持っていないので、飲酒に気を配らなくてもいい。食事をする際には必ず焼酎を飲むのだが、1合のワンカップをそのままテーブルに置いてくれるレストランが何か所も。正味1合。それをお湯で割るのだが、3杯はいける。かなりのお得感がある。他県では考えられないサービスだ。

宮崎市街地に住む私はゴルフ場に出向く場合、車の流れは逆方向になる。つまり、渋滞とは無関係。主だったコースまで高速道路を使用せずに30分以内で行ける。時間が計算できるのはありがたい。さらに、温暖なので雪でクローズの心配もいらない。

最近、思い巡らしているのは自宅のある福岡から宮崎への移住。食べ物は新鮮でうまいし、気候も暖かい。おまけに、ゴルフには最適。こんな好条件を手放すのはもったいない。60歳を迎えて、つくづくそう思うようになった。ついでに、こんなふうに勝手に考えるように。宮崎には「武器」がたくさんあるだけに、積極的に県外からの移住者獲得を進めたらどうだろう、と。

お知らせ

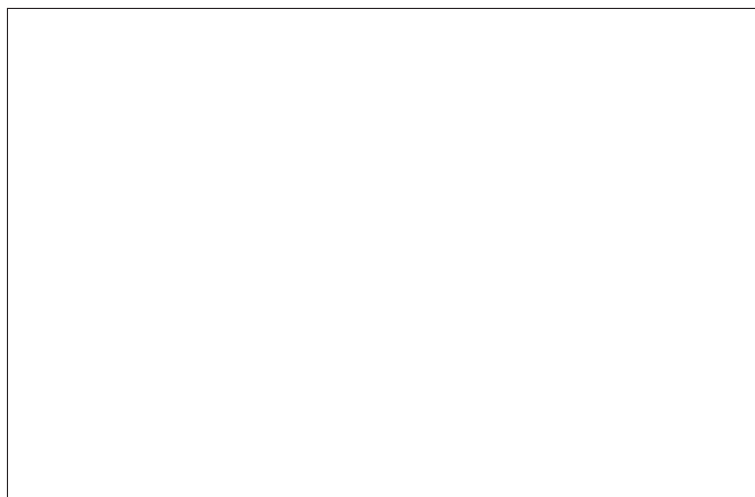
第 16回 宮崎県医師会

a ~ | p W i W!

「優秀な作品を一同に展示し，作品を通じて交流を図ると共に，創作する喜びや鑑賞する楽しさを味わえる開かれた芸術展」を目標に，平成 12年から始まった宮崎県医師会医家芸術展は，本年度で第 16回を開催する運びとなりました。

おかげさまで，去年は 50名の方々から 126点のご応募をいただきました。各作品部門におきまして充実した作品が揃い，素晴らしい展覧会となりました。また，入場者は 6 日間で 2,924人を数え，年々県民の間にも浸透しつつあるようです。

今年も県立美術館の県民ギャラリー 1 及び 2 を確保して，下記の要領にて作品を募集いたします。会員及びご家族のご出展を心よりお待ちしております。



(前回会場風景)

展示期間：平成 27年 8 月 12日(水)～ 16日(日)(5 日間)

場 所：宮崎県立美術館 2 F 県民ギャラリー 1 ・ 2

応募作品：写真，書道，絵画

応募資格：宮崎県医師会会員及び家族(高校生以上)

応募方法：出品希望の方は応募用紙を送付しますので，下記までご連絡ください。出品者名，出品部門，作品の点数・大きさ等必要事項をご記入いただきます。

※作品の搬入出につきましては，各自の責任のもとでお願いいたします。

※来場者が作品を撮影することがありますので，ご了承ください。

応募締切：6 月 10日(水)

応 募 先：宮崎県医師会 学術広報課

TEL 0985-22-5118・FAX 0985-27-6550

各郡市医師会だより

宮 崎 市 郡 医 師 会

宮崎市郡医師会病院は昭和59年4月に会員の紹介入院を主体にした開放型病院として開院以来、地域災害拠点病院、地域医療支援病院としての役割を果たしてきました。開院から30年あまりが経過した現在、施設の老朽化に伴う運営コストの増大、診療機能拡充の限界、災害拠点病院としての立地条件の不利が喫緊の課題となっています。平成25年10月に宮崎市郡医師会病院の建替整備に向けたマスタープランである「宮崎市郡医師会病院建替整備将来構想」を策定し、「診療科の新設(再開)」「病床規模の拡大」「救急医療機能の強化」を診療機能充実のための基本的な方向性として掲げました。また、臨床検査センター、成人病検診センター、看護専門学校、事務局などの医師会諸施設についても複合的に整備し、施設の合築並びに機器・諸室の共有化、組織の統合・再編、情報システムによる連携、各施設の運用面での連携による機能強化など、より一層の合理化を図ることとなります。これらを実現するためには、基本計画から基本設計、実施設計、建設工事というプロセスを円滑に進めていかなければなりません。現時点では「基本計画」のプロセスまでほぼ完了しており、これは設計段階に不可欠な医師会諸施設の建替整備に係る必要条件を、当院の経営企画課や外部のコンサル業者を交えて現場から入念なヒアリングを行い、理想と現実を吟味して集大成した「膨大な文字によって取りまとめられた計画の骨子」と言えるものです。今後は設計・施工発注方式の比較・検討を行い、土地開発公社による土地の整備に関する基本計画が完了する平成27年9月を目途に、文字によるイメージを目に見える形として具現化する「基本設計」の段階に移行する予定です。

(尾田 朋樹)

都城市北諸県郡医師会

4月1日に3施設(医師会病院、急病センター、健康サービスセンター)の移転を行い、開業、6日からは平常診療を開始した。移転時には入院患者数を43床まで絞り込み、県内の救急車、DMAT、ヘリコプターの協力により、約10kmの移送を約4時間で行った。

新設を機にベッド数を173から224床に増床。整形外科の新規開設、院内保育所、320列CT、

リハビリ室、急病センター充実、電子カルテ更新、部門システム導入を行った。

現在、ほっとする暇もなく、約50件の改修依頼に対応している。

移転に際して協力していただいた医療機関にお礼を申し上げます。(吉松 正明)

延 岡 市 医 師 会

延岡市夜間急病センターの小児科診療は、医師の負担が非常に強くなっていた処、日曜日の

枠に宮崎大学医学部小児科学分野から医師を派遣していただけることとなり、医師の負担軽減が期待されます。

また、延岡市医師会病院には、大分大学医学部神経内科学講座から専門医を派遣していただき神経内科専門外来を開設することとなりました。（高橋 博和）

日向市東臼杵郡医師会

救急医療に携わる 6 名の先生が発起人となり平成 16 年 2 月に発足しました「日向地区急性期医療連携検討会」も、今回で 30 回を数えます。

概ね年 2 回のペースで開催され、毎回医師、消防署救急隊の方々に参加されています。検討会では、実際にあった症例を基に、治療判断が難しかった症例の発表、救急医療に関する講演が行われています。急性期医療に対応した研修が重ねられ、地域の救急医療のレベルアップが図られています。（渡邊 康久）

児 湯 医 師 会

宮崎県民の念願の東九州自動車道が開通し、九州各県がやっと一本の動脈で繋がった感があります。医療を含めた様々な交流が促進されることを祈ります。児湯郡もその恩恵に預かれるでしょうか？児湯 5 町中 4 町を通過しながら、IC は 2 か所、SA は 1 か所だけです。単なる迂回路にならないよう願うばかりです。

合併構想は頓挫したものの医療圏の結束は堅い児湯医師会です。（永友 淳司）

西 都 市 西 児 湯 医 師 会

3 月 30 日に牛谷義秀先生を講師にお招きし、在宅医療推進のための連携・スキルアップ研修会を開催しました。参加者は 20 名で、医師 16 名に加え、歯科医師、薬剤師、看護師等、在宅医療に関わっている方々、興味を持っている方々、更に行政の方々にも参加いただきました。先生の講演は多職種の方々に多くの刺激を与えて下さいました。医師会としては、今後多職種連携をさらに強め、在宅医療推進のために努力していきたいと思います。（松本 英裕）

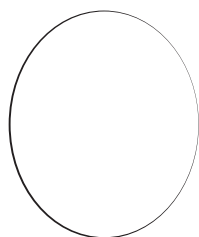
南 那 珂 医 師 会

昨年 6 月に設置された日南市在宅医療・介護連携推進協議会で本格的な活動が始まりました。在宅医療・介護に関わる多職種の情報共有のための ICT システムが実働準備段階です。今年 4 月には市立中部病院に連携推進室が設置され、地域包括ケアの実現に関わる多職種のコーディネート役が期待されています。（竹中 晃司）

西 諸 医 師 会

平成 27 年度に入り、医療介護総合確保推進法に基づいた事業が本格的になります。また、介護保険報酬が改定され、地域の医療・介護は大きく変化していくことが予測されます。西諸医師会は以前より行政と西諸医療懇話会等を定期的に開催し、良好な関係を築いてきました。今後も行政、他職種団体とも協力して、この難問に対応していく所存です。（池井 義彦）

宮崎大学医学部だより

発達泌尿生殖医学講座
—小児科学分野—ぬの い ひろゆき
布井 博幸教授

宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座小児科学分野は三代目の布井教授が就任されて14年が経過しました。「一例一例から学んで、わからない病態があったら、それをできるだけ分子レベルで理解し、治療へとつな

げていこう」という布井教授の方針が医局員に浸透してきました。入退院のカンファレンスでは教授からのキレのある質問(時にキレすぎていますが)に答えるべく、医局員は日々、理論武装に励んでいます。

研究については、設備とマンパワーが徐々に充実し、「感染・免疫・膠原病」グループは布井教授を中心に慢性肉芽腫症の遺伝子診断の全国の中核施設として診断のみならず病態解明を研究しています。「血液・腫瘍」グループは盛武准教授を中心に発癌および腫瘍進展の分子機構を研究テーマとし、難治性造血器腫瘍細胞の新規融合遺伝子など報告しています。「腎臓」グループは此元助教を中心に慢性腎炎、ネフローゼ症候群の発症および病勢進行のメカニズムについて分子レベルで解析を行っています。「内分泌・代謝」グループは澤田を中心にエネルギー代謝調節に関する研究を行っています。「神経」グループは池田助教を中心に原因不明の症例についてエクソーム解析を行い、新規責任遺伝子同定を目指しています。「循環器」グループは、長年医局長を勤めた高木病院教授が平成26年度に退局され、近藤助教、原田医員の若手が臨床で忙しくしております。今後は研究も充実していきます。

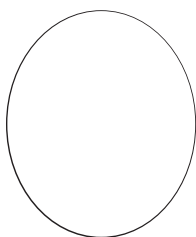
最近の入局員を紹介します。平成24年度に入局した日高倫子(佐賀大学平成22年卒)は大学病

院での研修後、県立宮崎病院、都城市郡医師会病院、平成2年度からは県立日南病院で勤務します。若くしてスタッフ、患者からの信頼厚く、日南でも開業医の先生方と連携して中核病院の役割を果たしてくれることと思います。平成25年度は柏田浩一(熊本大学平成23年卒)が入局しました。県立宮崎病院で初期研修を受けた後、大学病院で勤務し、平成26年度から県立宮崎病院で勤務しております。大学病院勤務時は医局員の中で3番目に年長であることから、指導医は困っていましたが、患者家族からは「偉い先生が来た」と喜ばれていました。平成2年度は黒木純、中川緑、山下尚人、山元綾子(全員、宮崎大学平成24年卒)の4名が入局しました。黒木医師は宮崎市出身で現在新婚ですが、平成2年度は単身赴任となり県立日南病院で勤務します。仕事に没頭してもらいます。中川医師は大学卒業時に結婚し、現在妊娠中ですが、病棟で頑張っています。平成2年度は大学病院でしばらく勤務して産休に入る予定です。山下医師は都城市出身で平成2年度は都城市郡医師会病院に勤務します。都城の先生方、地元出身です。どうかかわいてください。山元医師は宮崎市出身です。平成2年度は県立宮崎病院に勤務します。周りの先生方、ご指導よろしくお願いします。平成2年度は明利聡瑠(宮崎大学平成25年卒)が入局しました。入局1名で医局員の期待を一身に背負っています。大学生の頃から小児科入局を公言しておりましたが、他科に心変わりするのではないかと心配しておりました。優秀な人材でこれからが楽しみです。

平成25年10月11日から12日に布井教授が第18回日本神経感染症学会(シーガイアコンベンションセンター)、同年11月29日から30日に高木病院教授(当時)が第18回日本小児心電図学研究会(宮崎県医師会館)を開催しました。開催の折には宮崎県医師会に大変お世話になりました。感謝申し上げます。今後とも医師会先生方の変らぬご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。(講師 澤田 浩武)

部会だより

産 業 医 部 会

かわの まさゆき
河野 雅行 部会長

宮崎県医師会産業医部会は、42名の会員により構成され、役員は河野部会長をはじめ、各都市医師会等から選出いただいた理事を中心に構成されています。

会議に関しては、理事会を年1回開催し、主に産業医研修事業、産業医活動の活性化等について検討しています。また、県産業保健連絡協議会・県産業医研修連絡協議会を年に2回開催し、医師会、労働局、産業保健総合支援センター、事業者団体で、産業保健活動についての意見交換をしています。

産業医研修会に関しては、日医認定産業医制度関係小委員会を毎年2月に開催し、カリキュラム内容の検討・講師選定など次年度の年間研修会計画を立てています。平成26年度は、各都市医師会や産業保健総合支援センターにもご協力をいただき、未認定医対象の基礎研修会29.5単位(前期7, 実地8, 後期14.5), 認定医対象の生涯研修会66.5単位(更新9, 実地12, 専門45.5)を実施しました。なお、平成23年度より日本医師会のモデル事業として、テレビ会議システムを利用した産業医研修会の実施が可能となっており、平成26年度は3回実施しています。これまで地理的条件等で研修会受講が困難であった先生方も、お住まいの地域の近くで受講することができるため、今後も各都市医師会のご協力をいただきながら実施していきたいと考えています。

労働安全衛生法の改正によって、ストレスチェッ

ク制度(労働者数50人以上の事業場において、労働者に対する医師や保健師等によるストレスチェック及び面接指導の実施が事業者の義務となる)が平成27年12月1日から施行されます。この制度が始まることにより、地域で産業医が果たす役割はますます大きくなるものと予想されます。また、この新たな制度は、産業医活動の重要性を事業者等に知らしめる契機となると思います。当部会でも、今年度の産業医研修会において、労働者のメンタルヘルスに関連したカリキュラムを重点的に組み込むよう企画しています。

その他、地域産業保健事業については、宮崎・都城・延岡・南那珂の4地域にある「地域産業保健センター」の運営を平成27年度から平成28年度まで県医師会が行ってきましたが、国の産業保健3事業の一元化を受け、平成26年4月より運営主体が、独立行政法人労働者健康福祉機構宮崎産業保健総合支援センターへと移りました。しかし当然ながら、この事業は、関係する都市医師会のご協力がなければ円滑な運営ができません。運営主体は変わりましたが、全ての労働者に対し質の高い産業保健サービスを提供するため、今までと変わらぬお力添えをいただきたいと考えています。

最後になりましたが、産業医が一致協力し、産業医研修会や労働衛生対策等の産業保健活動を促進するため、日医認定産業医でまだ当部会に入会されていない先生方におかれましては、是非入会をご検討いただきたいと思います。ご希望の先生は入会申込書をお送りいたしますので、宮崎県医師会事務局までご連絡いただければ幸いです。(常任理事 佐々木 幸二)

お知らせ

医師資格証をもっていますか？

— 各種委員会 —

予 防 接 種 委 員 会

と き 平成 27年 3月 27日(金)

ところ 県医師会館(テレビ会議：延岡)

高村常任理事の司会により開会され、河野会長の挨拶の後、県医師会全理事協議会において委員長は高山修二先生、副委員長は村井幸一先生が選任されたことが報告され、自己紹介が行われた。

次に、河野会長から高山委員長へ「接種率向上および任意接種の定期接種化への取組み」について諮問され、高山委員長の司会進行により議事に入った。

1) 各地域の予防接種体制について

高村常任理事から、平成 27年度任意予防接種助成予定について県内市町村の状況の説明があり、地域の実状について各委員より報告があった。

2) 広域化の問題点等について

高村常任理事から、平成 27年度広域予防接種業務委託契約(高齢者等肺炎球菌ワクチン含む)の委託料について説明があった。なお、平成 26年度広域予防接種の実績(高齢者除く)は合計 4,886件であった。

B型肝炎やロタウイルスワクチン等の任意接種については、市町村の助成状況がばらばらであり広域化できないことが問題点として挙げられた。

3) 接種率向上について

接種率向上に向けての広報や教育現場への啓発活動など協議を行った。

4) その他

平成 26年度宮崎市郡医師会予防接種研修会について報告された。宮崎市郡医師会主催の研修会を平成 27年度からテレビ会議で各郡市医師会に放映し 255名の参加を得ている。

また、三宅和昭先生から成人の麻疹・風疹抗体価に関する説明があり、検査法等について活発な議論が行われた。

出席者—高山委員長、村井副委員長、高村・
政所・高橋・松岡・喜多・岩見・峰松・
布井・秦委員

(オブザーバー)三宅和昭県小児科医会長

(県医) 河野会長、濱田副会長、
高村常任理事(重複)、峰松理事(重複)、
糸数理事、久永課長、鳥井元課長補佐、
野尻係長

平成 26 年度都道府県医師会生涯教育担当理事連絡協議会

と き 平成 27 年 3 月 4 日(水)

ところ 日本医師会館

小森日医常任理事の司会により開会后、横倉日医会長の挨拶があり議事に入った。

議 事

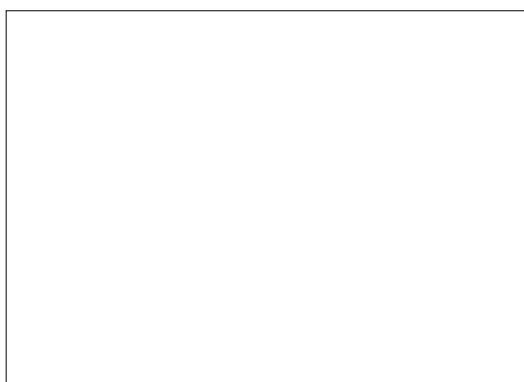
1. 生涯教育関連事項報告(小森日医常任理事)

平成 25 年度の単位取得者総数は 113,471 人(うち日医会員 103,120 人)で、日医会員単位取得率は 62.7%(本県は 78.1%)、取得単位数＋カリキュラムコード(cc)数合計の平均は 30.9 となった。日医生涯教育認定証(連続する 3 年間で取得単位数と cc 数の合計が 60 以上の方を対象に発行)は、5,634 人に交付された。

指導医のための教育ワークショップについて、本年度は日医で 2 回開催したほか、1 都道府県医師会が開催、33 名が修了しこれまでの修了者は 6,294 名となった。本県では毎年 12 月に開催しており、これまでの修了者は 312 名である。

日医生涯教育協力講座セミナーについて、本年度は 4 つのセミナーについて各都道府県医師会へ開催をお願いした。このうち本県では、「かかりつけ医のための泌尿器疾患診療のポイント」、「COPD 診療にいかに取り組むか～新ガイドラインに沿った診断と治療～」、「新しいステージを迎えた糖尿病医療」の 3 つを実施、「認知症に寄り添う～地域生活継続可能な社会に向けて～」については、平成 28 年 9 月までに開催予定である。e-ラーニングについては、現在 64 のコンテンツを配信している。

最後に、昨年 12 月より開始した日本医師会電子書籍サービス(講演録や日医雑誌等の閲覧



が可能)、「日本医師会 e-Library(日医 Lib)」が紹介された。

2. 生涯教育推進委員会報告(倉本日医生涯教育推進委員会委員長)

医師養成を巡る動きには、大きく①医学部における医学教育の標準化(モデルコアカリキュラム)、②卒後臨床研修の必修化、③世界認証に堪える卒前教育、④若手医師のキャリアアップ(新しい専門医制度)の 4 つがある。新しい専門医制度については、平成 27 年度に初期研修を開始する研修医が、新しい制度下での専門医第 1 号となる予定である。現在、各専門領域が「専門研修モデルプログラム」を作成中であるが、日医生涯教育講座制度の発展のため、制度活用を要請していきたいと報告された。

3. シンポジウム：診療ガイドラインについて

始めに山口日本医療機能評価機構理事より、「医療情報サービス『Minds』について」と題し基調講演があった。「Minds」とは、各専門科領域

の診療ガイドライン普及を目的とした厚労省の委託事業である。学会等が作成した診療ガイドラインを、エビデンスに基づいて作成されたものかどうかを評価・選定し、Mindsウェブサイトに公開しており、現在 138 のガイドラインを掲載している。

続いて福井日医生涯教育推進委員会委員より、「診療ガイドライン利用上の注意点」と題し講演があった。①利用上の障壁(バリアー)、②法的側面からのメッセージ、の 2 つの視点から、ガイドラインが取り上げられた医療訴訟の件数や実際の判例等を交えて解説、「臨床医は最新版の診療ガイドラインの存在と内容を知っておき、必要に応じて患者に説明する必要がある」「推奨にのっとらない診療を行う

ときには、その理由をカルテに記載しておくことが勧められる」という 2 点を強調された。

その後、尾崎日医生涯教育推進委員会副委員長、河合同委員が加わった 4 名のシンポジストによる討議が行われた。その中では、「若い医師は、情報の信頼性よりもアクセスのしやすさ(すぐに調べられるもの)を重視する傾向があると感じる」「薬剤の添付文書について、重大な副作用は把握しておくべき」「医師の専門性に基づく判断は重要だが、患者に説明し、きちんとカルテに記載しておくことが重要」等の意見が出された。

出席者—小牧常任理事、高山主事

お知らせ

クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成 27 年 5 月 1 日より平成 27 年 10 月 31 日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

日医インターネットニュースから

■医療ITの基盤整備で5W Gを設置 — 政府・協議会が初会合 —

政府の「健康・医療戦略推進本部」の下に設置された「次世代医療IT基盤協議会」の初会合が4月2日、非公開で開かれた。同協議会の前身に当たる「次世代医療ITタスクフォース」が取りまとめた中間報告を踏まえ、医療関連のIT基盤構築を進める。

タスクフォースは昨年7月に中間報告をまとめた。この中では現在保険行政に利活用されているレセプトデータなどに加えて、利活用可能なデータを拡大する方針が盛り込まれている。タスクフォースを発展的に解消して設置した協議会には、関係省庁の担当部局のほか、日本医師会の横倉義武会長、日本病院会の堺常雄会長ら医療関係者や有識者が参加。事務局の内閣官房健康・医療戦略室によると、初会合では中間報告に盛り込まれたIT基盤構築に向けて5つのワーキンググループを設置して推進する方針を了承した。

日医によると、横倉会長は次世代基盤の環境整備として医療機関の「IT化」と「標準化」が望まれると説明。多くの医療機関に標準規格のシステムが導入され、患者の同意を経て、匿名化したデータが利活用されるべきとの認識を示した。また、医療・介護連携の基礎として全国各地で利用可能な基盤となることに期待を見せたほか、日医内に医療分野へのIT導入の在り方について検討する委員会を設けていることを紹介した。
(平成27年4月7日)

■1人当たり医療費「米国より効率的」 — 安倍首相 —

安倍晋三首相は4月9日の参院予算委員会で、医療保険制度の日米比較に関し「日本は公費が大きくカバーしているが、1人当たり医療費については米国より効率的ではないか」と述べ、日本で形作られた国民皆保険制度を今後も堅持していく姿勢を示した。維新の川田龍平氏の質問に対する答弁で述べた。

安倍首相は各国の医療保険制度について「社会や国の成り立ち、文化的な背景等によって発展してきた」と述べ、古来、田を耕して水を分かち合い、互いに助け合ってきた歴史がある日本と、移民として自分たちでフロンティアを切り開き、自分のことは自分で守ってきた歴史を持つ米国では医療保険の成り立ちが違うことを説明。「米

国の民間保険は細かく自分が受けられる治療等々が決められており、それに対応するため事務手続きにも費用がかかる」と聞いていることを明かした。

医療と経済の関係性については、「(医療制度は)国民生活の安定と向上を図り、経済成長を支える重要な役割を担っている」としたほか、医療サービスの提供は地域の雇用を生み出し、イノベーションなどを通じて経済成長に貢献し得ると評価。一方で医療サービスは税と保険料などで賄われており、国民皆保険を堅持していくためには経済と調和を図ることが必要との認識も示した。

患者申出療養については「患者団体から安全性・有効性や先進的な医療が保険外にとどまることへの懸念が示された経緯もあり、配慮する必要がある」と述べ、医療保険制度改革関連法の成立後は患者を含め関係者の意見を聞きながら、施行に向けて丁寧に準備を進める考えを示した。

(平成27年4月14日)

■日医健診標準フォーマットの運用開始 — 日医定例記者会見 —

羽鳥裕常任理事は、4月15日の定例記者会見で、日医が作成した「日医健診標準フォーマット」の運用を開始したことを報告し、医師会共同利用施設等での利用を通して、健診フォーマットを定着させていきたいとした。

日医では、平成27年度における事業の中で「生涯保健事業の推進による健康寿命の延伸」を掲げ、乳幼児期から高齢者に至るまで、医療等ITを活用して、必要な健診項目を網羅した保健事業を展開し、蓄積されたデータが国民の健康管理に適切に反映されるような仕組みを講じることとしている。本フォーマットはこの趣旨に基づき、日医総研で行った「健診データにおける標準的なフォーマットの策定に関する研究」の成果を基に、平成27年4月よりその運用を開始したものである。

本フォーマットは、様々な仕様の健診システムからデータをCSV(カンマ区切り)形式で出力し、日医から提供する「変換ツール」を用いて変換するもの。その内容は、健診データ86項目、特殊健診データ12項目などからなっており、国内の医療データや健診データの交換規約や、国際標準の規格にも対応できるものとなっている(平成27年中には「妊婦健診」、「乳・幼児健診」、「児童生徒健診」にも対応する予定)。

同常任理事は将来的には、本フォーマットを運用することにより、日医や地域の医師会に健診用のデータベースを設置し、医療機関からの健診データが取り込まれることを想定しているとした上で、「データ参照機能」により、転居などで居住地域が変わっても、健診機関や医療機関を通して住民自身が健診の履歴を閲覧できるようになるなどのメリットを説明。また、「分析機能」として、地域保健や職域保健の間や行政組織間、健診関連団体間などでも標準化されたデータを集積することで、個人情報に配慮しつつビッグデータの活用も進められるようになるとした。

更に、今後の健診データの活用に向けて、(1)医師会共同利用施設を対象とした、大規模データの長期保管に対するサポート体制、(2)医師会や医療機関が健診データを閲覧するシステム、(3)集積したデータを分析する機能や体制一の構築を検討する必要があるとした他、「今年度は、いくつかの医師会立病院や健診センターの協力を得ながら、全国規模の標準化された健診データの活用を進めていきたい」とした。

(平成 27 年 4 月 21日)

■「医療関係者が地域医療を自ら再興」 — 中川副会長 —

中川俊男副会長は地域医療構想を「地域の医療関係者が地域医療を自ら再興させよう、という枠組みになった」と評価する。その上で「構想は 4 都道府県あれば、4 通りある」と述べ、政策誘導ではなく、医療現場が自主的に医療提供体制の改革を進める枠組みであることを強調。一方、構想実現に向け、地域医師会など医療関係者の積極的な関与を呼び掛ける。

地域医療構想は、疾患別の患者数など、医療機関がこれまであまり触れることがなかったデータを参考にしながら、関係者が各地で自主的に地域の医療を考え、医療提供体制の改革につなげることになる。中川副会長は「地域医療構想策

定では、地域で不足している病床機能がある場合には、それらを手当てし、次第に収斂されていくことを目指している」と述べ、過剰な病床を削減する仕組みではないことを強調する。

●診療報酬との関連付けに警戒感

とはいえ、医療関係者の間では、地域医療構想の実現を目指す取組みが、診療報酬と関連付けられ、病床削減につながることへの懸念がくすぶる。この問題には「診療報酬で医療費を抑制する政策的な動き、例えば 7 対 1 病床を削減しようとする圧力は地域医療構想の存在にかかわらずある」との認識を示した上で、双方がつながれば病床削減の政策に様変わりする可能性があり、日医として警戒していく考えを示した。

また、知事の権限で病床削減が進められてしまうことへの懸念も指摘されるが、それには「都道府県に病床削減などの権限がない」と明言。「正当な理由なく要請に応じない場合や命令、指示に従わない場合は、都道府県知事は医療機関名の公表などが可能だが、それは極めてまれなケースだ」と分析した上で、あらかじめ調整会議で協議されるのが前提であることや、知事が対応を取るには都道府県医療審議会の意見を聞くことが必要だとして、医師会をはじめ、地域の関係者が適切な役割を果たして対応するよう要請した。

●調整会議の議長、「医師会の代表が」

また、中川副会長は構想実現に向けて「地域の主体的取組みが重視される点で、地域の実情に詳しい医師会の関与は構想実現の大きな鍵」と説明する。「各都道府県の医療審議会は都道府県医師会、調整会議は都道府県医師会と都市区医師会が主導的な役割を果たすことが求められる。その際、調整会議の議長は直接的な利害を排除した中で調整が求められるので、医師会の代表が務めるのが望ましいのではないか」と見通した。

(平成 27 年 4 月 24日)

このコーナーの記事は“日医インターネットニュース”から抜粋して掲載していますので、詳細を知りたい方は日本医師会ホームページをご覧ください。毎週火・金に更新していますので全ての記事が閲覧できます。

日医インターネットニュースへのアクセス方法

日本医師会(<http://www.med.or.jp>)にアクセス

日本医師会ホームページ右上のメンバーズルームをクリック
メンバーズルームに入る方法

ユーザー ID : 会員 ID 番号(日医からの送付物の宛名シール下部に印刷されている 10桁の数字)を 0 も含め、全て半角で入力

パスワード : 先生の生年月日の 6 桁の数字を半角で入力
例) 196 年 5 月 1 日生まれの場合、610501

薬事情報センターだより (336)

新薬紹介(その7)

今回は2月に薬価収載された尋常性ざ瘡治療剤ベピオゲル2.5%(一般名:過酸化ベンゾイル)とがん性皮膚潰瘍臭改善薬ロゼックスゲル0.75%(一般名:メトロニダゾール)について紹介いたします。

ベピオゲル2.5%(一般名:過酸化ベンゾイル)

ベピオゲル2.5%は、国内初の過酸化ベンゾイルを有効成分とする医療用の尋常性ざ瘡治療剤です。尋常性ざ瘡患者における薬剤耐性菌の問題が、本邦でも問題視されつつあり、2010年、公益社団法人日本皮膚科学会は、将来懸念される耐性菌の問題を回避するために、過酸化ベンゾイルを必要な尋常性ざ瘡治療剤と位置付けて、医療用医薬品として早期開発、承認に関する要望書を厚生労働省に提出しました。マルホ株式会社は、この要望を踏まえて開発に着手し、国内で尋常性ざ瘡患者を対象に臨床試験を実施した結果、有効性及び安全性が確認されたことから、2014年12月に「尋常性ざ瘡」を効能・効果として、製造販売承認され、2015年4月に発売されました。なお、過酸化ベンゾイルを含有する尋常性ざ瘡治療外用剤は、欧米をはじめ数十か国で販売されています。

過酸化ベンゾイルは強力な酸化剤であり、分解により生じたフリーラジカルが尋常性ざ瘡の病態に関与している *P. acnes* や *Staphylococcus epidermidis* など細菌の膜構造、DNA、代謝などを直接障害して、抗菌作用を示します。抗菌薬の抗菌作用とは機序が異なります。また、閉塞した毛漏斗部において、フリーラジカルが、角層中コルネオデスモソームの構成タンパク質を変性させることにより、角質細胞同士の結合が緩み、角層剥離が促進され、毛漏斗部の角層肥厚を改善します。

承認時までの国内臨床試験において、43例中19例(43.7%)に副作用が認められました。主な副作用は、皮膚剥奪(鱗屑)8例(18.6%)、適用部位刺激感6例(14.0%)、適用部位紅斑6例(13.8%)等でした(承認時)。

ロゼックスゲル0.75%(一般名:メトロニダゾール)

ロゼックスゲル0.75%は、有効成分としてメトロニダゾールを0.75%w/w含有する水性ゲル製剤であり、がん性皮膚潰瘍の嫌気性菌感染に伴う臭気を軽減することを目的に開発されました。メトロニダゾールは嫌気性条件下で原虫又は菌体内の酸化還元系によって還元を受け、ニトロソ化合物に変化します。このニトロソ化合物がDNAと結合してDNA合成を阻害し、抗原虫作用及び抗菌作用を示します。また、反応の途中で生成したヒドロキシルアミン付加体がDNA損傷を惹起します。この作用機序により、皮膚潰瘍部位において臭気物質(プトレシン、カダベリン)を産生する数種類のグラム陽性及びグラム陰性嫌気性菌に対して抗菌作用を発揮する結果、がん性皮膚潰瘍に伴う臭気を軽減します。

2010年に、特定非営利活動法人日本緩和医療学会及び一般社団法人日本緩和医療薬学会から厚生労働省の医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議に対して、がん性皮膚潰瘍臭の軽減を目的としたメトロニダゾール外用剤の市販に関する要望書が提出され、医療上の必要性に係る基準への妥当性が評価されました。その結果を受けて2010年12月、厚生労働省よりガルデルマ株式会社にメトロニダゾール外用剤の開発要請がされました。がん性皮膚潰瘍に伴う臭気を有する患者を対象とした国内第Ⅲ相臨床試験が実施され、2014年12月に「がん性皮膚潰瘍部位の殺菌・臭気の軽減」を効能・効果として、製造販売承認されました。2015年5月に発売予定です。なお、英国で、がん性皮膚潰瘍部位の臭気の軽減で承認されています(2014年12月現在)。

国内第Ⅲ相臨床試験において、安全性評価対象例21例中2例(9.5%)に潰瘍部位からの出血の副作用が認められました(承認時)。

〈参考資料〉

ベピオゲル2.5%、ロゼックスゲル0.75%
各添付文書・インタビューフォーム

(宮崎県薬剤師会薬事情報センター)

永井 克史)

団体所得補償保険

医師国保組合だより

第19回歩こう会に参加して…

県医師国保組合 延岡市医師会支部長 佐藤信博

県北住民にとりまして悲願の東九州自動車道の全線開通を目前に控えた休日の良き日に、約60名の皆様と楽しい時間を延岡市北浦町で過ごすことができました。

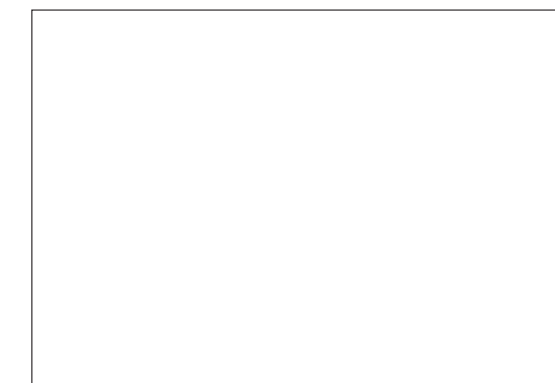
まず、北浦町体育館にて宮崎大学医学部附属病院リハビリテーション部技師長の宮崎茂明先生のご指導でロコモ予防体操を行いました。寒い雨模様でしたが、体操終了後にはすっかり身体が温かくなり、軽やかになっておりました。

お昼は北浦町の新鮮な魚料理をいただき、道の駅「北浦」や「はゆま」で海の幸、山の幸の買い物に興じました。

食事の合間には延岡のご紹介をすることもできました。高速道路を利用しもっと県北、延岡市へ皆様の足を運んでいただけるきっかけ作りとなれたのではと思います。

ここで、延岡市の素晴らしさの一部をご紹介します。

延岡は海・山・川の自然に恵まれています。また、「日本の100選」の宝庫でもあります。特に、北浦地区の海には数100種類のサンゴが群生し、日本一の群落規模といわれるオオスリバチサンゴ、幾重にも折り重なるように広がるテーブルサンゴがあります。また、棲息する魚の種類も600種以上で日本一を誇っています。スキューバダイバーの間では魅了的なスポットとして有名で、多くのダイバーが訪れます。この北浦地区は「にほんの里100選」に選ばれ、海を隔てた向かいの島：島野浦は「島の宝100景」に選ばれています。近くの須美江海水浴場と下阿蘇ビーチは「快



水浴場100選」に選定されました。

山としては市街地に城山・今山・愛宕山の3つの山があります。城山は「日本の歴史公園100選」に選ばれ、毎年石垣を背景に江戸時代の延岡藩主内藤家から延岡市に寄贈された天が一能面を使って「延岡天が一薪能」が開催され、全国から多くの能楽ファンが訪れます。愛宕山は「夜景100選」と「日本夜景遺産」に、山頂にある展望台までの道路は「美しい日本の歩きたくなるみち500選」に選定されています。今山には日本一の高さ17mの弘法大師像があり、毎年4月の第3金・土・日曜日に今山大師祭が盛大に行われます。

また、周辺には「日本の滝100選」に選ばれた行藤の滝をいただく行藤山を始めとした5つの山々、少し足を伸ばせば大崩山や祖母山の登り口もあります。大崩山ではトレッキングから登山そしてロッククライミングまで幅広い楽しみ方ができ、多くの登山家が集まります。

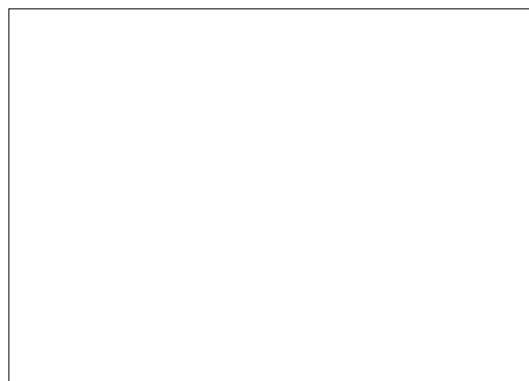
また、延岡には五ヶ瀬川を始めとして6つの川が市街地を流れ、市内全域では10の水域と63の河川があります。特に五ヶ瀬川は国土交通省

から全国の一級河川の中で最も綺麗な川に昨年も選ばれ、「水の郷 100選」にも選定されています。五ヶ瀬川の鮎の味は全国の中で最も超一流とされ、江戸時代には毎年幕府に献上されていました。今でも全国の鮎釣り同好者からは垂涎の地だと言われ、多くの釣り人が全国から訪れます。

五ヶ瀬川・大瀬川に架かる「鮎やな」の鮎焼きの香りは「かおり風景 100選」に、鹿川溪谷にかかる 1 連の大橋と 42 連のアーチ橋は「ヘリテージング 100選」に、大崩山から流れる清流が花崗岩を削ってできた祝子川溪谷にはニホンカモシカが今も生息しており「日本の自然 100選」に選ばれています。

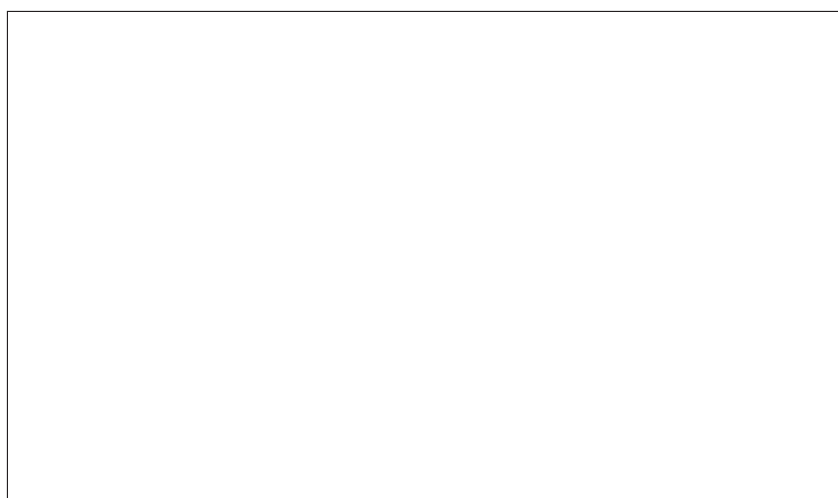
また、今年の 11 月 2 日～ 23 日に延岡市で『エンジン 0 文化戦略会議 オープン カレッジ in 延岡』というイベントが開かれます。

これは文化人、芸術家、芸能人、スポーツマンなど 100～ 150 人の著名人達がボランティアで行ってくれ、約 100 コマの講義（1 コマ 1 時間半）を 1 講義 500 円で受講することができるイベントです。九州では、2003 年に佐賀市で開催されています。



私の旧知の友である料理評論家の山本益博さんがこの会の会員であるため、5 年ほど前から誘致活動を始め、昨年の暮れに開催が決定されるとともに彼が実行委員長になってくれることになりました。その折には皆様も是非延岡にお越しくださいませ。9 月にはプログラムも発表になるかと思いますが、人気の講座はすぐに埋まります。早めのチケット購入がおすすめです。またご案内させていただきたいと思います。

是非、多くの皆様に延岡にお越しくださいませう、お待ち申し上げております。



医師国保組合だより

平成26年度 宮崎県医師国民健康保険組合第112回通常組合会

と き 平成27年3月12日(木)

ところ 県医師会館

去る3月12日に第112回通常組合会が開催され、平成27年度の事業計画(案)、歳入歳出予算(案)、法令遵守(コンプライアンス)のための実践計画(案)、および規約の一部改正についての4議案が承認されたので、その概略を報告する。

1. 報 告

会務について、関係団体の会議等への出席、理事会および委員会の開催等についての報告、業務については、被保険者数と異動内容、保険給付状況、保健事業の内容を報告した。

2. 議案第1号 平成27年度事業計画(案)について

事業計画については、基本的に前年度を踏襲している。被保険者の健康管理については、新規事業として「ロコモ啓発推進事業」を関係団体等の協力を得ながら取り組むことが承認された。また国保組合共通システムについては、本稼働させただけで保険者機能の充実と今後の社会保障・税番号制度導入に係るシステム対応および制度改正等にも迅速に対応させ、IT化を引き続き推進していく旨説明し承認を得た。

3. 議案第2号 平成27年度歳入歳出予算(案)について

歳入については、保険料が2億9,306万4千円で、歳入合計の52%を占め、国庫支出金が16%、繰越金は30%となっている。歳出については、保険給付費が2億4,741万2千円で43%、後期高齢者支援金等が16%を占めている。歳入・歳出合計5億6,309万2千円の予算(前年度予算比較2.3%減)について説明し承認を得た。

4. 議案第3号 平成27年度宮崎県医師国民健康保険組合法令遵守(コンプライアンス)のための実践計画について

平成27年度の実践計画の策定について、原案どおり承認を得た。

5. 議案第4号 規約の一部改正について

規約の第1条「役員の定数・任期・選挙」および第4条「出産育児一時金」についての一部改正を行い原案どおり承認を得た。

※出席組合会議員及び出席役員は下記のとおり。

1. 出席組合会議員

1 番 市来 能成	13 番 出水 善文
2 番 内田 攻	14 番 野邊 俊文
3 番 神尊 敏彦	15 番 大岐 照彦
4 番 田崎 高伸	18 番 井手 稔
5 番 田中 宏幸	19 番 江崎 豊
6 番 谷口 二郎	21 番 大久保史明
7 番 玉置 昇	22 番 水野 智秀
9 番 弘野 修一	23 番 坂田 師隣
10 番 福永 隆幸	26 番 花田 武浩
11 番 藤木 浩	27 番 立山 洋司
12 番 武田 信豊	

2. 出席理事

理 事 長	秦 喜八郎
副理事長	大坪 睦郎
常務理事	高橋 政見
理 事	佐々木 究
理 事	矢野 裕士
理 事	高村 一志
理 事	川野啓一郎
理 事	佐藤 信博
理 事	糸数 智美

3. 出席監事

監 事	棚田 敏文
監 事	山路 健

平成 27年度宮崎県医師国民健康保険組合歳入歳出予算書

(歳 入)

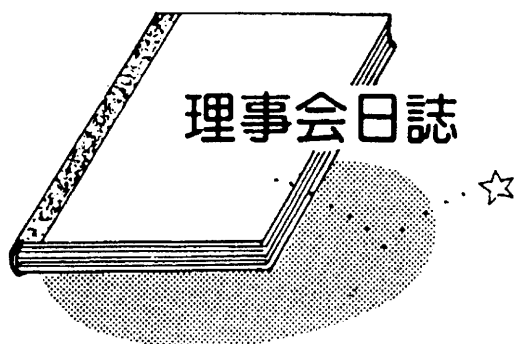
(単位：円)

款	項	金 額	構 成 比
1. 国民健康保険料	1. 国 民 健 康 保 険 料	293,064,000	52.05%
2. 一 部 負 担 金	1. 一 部 負 担 金	1,000	0.00%
3. 国 庫 支 出 金		92,545,000	16.44%
	1. 国 庫 負 担 金	1,601,000	(1.73%)
	2. 国 庫 補 助 金	90,944,000	(98.27%)
4. 前期高齢者交付金	1. 前 期 高 齢 者 交 付 金	2,000	0.00%
5. 県 支 出 金	1. 県 補 助 金	2,000	0.00%
6. 共同事業交付金	1. 共 同 事 業 交 付 金	7,000,000	1.24%
7. 財 産 収 入	1. 財 産 運 用 収 入	300,000	0.05%
8. 繰 入 金	1. 繰 入 金	5,000	0.00%
9. 繰 越 金	1. 繰 越 金	170,000,000	30.19%
10. 諸 収 入		173,000	0.03%
	1. 加算金・延滞金及び過怠金	1,000	(0.58%)
	2. 預 金 利 子	110,000	(63.58%)
	3. 雑 入	62,000	(35.84%)
歳 入	合 計	563,092,000	100.00%

(歳 出)

(単位：円)

款	項	金 額	構 成 比
1. 組 合 会 費	1. 組 合 会 費	9,100,000	1.62%
2. 総 務 費	1. 総 務 管 理 費	49,303,000	8.76%
3. 保 険 給 付 費		247,412,000	43.94%
	1. 療 養 諸 費	222,570,000	(89.96%)
	2. 高 額 療 養 費	19,001,000	(7.68%)
	3. 移 送 費	1,000	(0.00%)
	4. 出 産 育 児 諸 費	840,000	(0.34%)
	5. 葬 祭 諸 費	1,400,000	(0.57%)
	6. 傷 病 諸 費	3,600,000	(1.46%)
4. 後期高齢者支援金等	1. 後 期 高 齢 者 支 援 金 等	91,007,000	16.16%
5. 前期高齢者納付金	1. 前 期 高 齢 者 納 付 金	34,108,000	6.06%
6. 老人保健拠出金	1. 老 人 保 健 拠 出 金	5,000	0.00%
7. 介 護 納 付 金	1. 介 護 納 付 金	48,600,000	8.63%
8. 共同事業拠出金	1. 共 同 事 業 拠 出 金	8,606,000	1.53%
9. 保 健 事 業 費		26,680,000	4.74%
	1. 特定健康診査等事業費	2,900,000	(10.87%)
	2. 保 健 事 業 費	23,780,000	(89.13%)
10. 積 立 金	1. 積 立 金	5,000	0.00%
11. 公 債 費	1. 一 般 公 債 費	1,000	0.00%
12. 諸 支 出 金	1. 償還金及び還付加算金	2,000	0.00%
13. 予 備 費	1. 予 備 費	48,263,000	8.57%
歳 出	合 計	563,092,000	100.00%



平成 27 年 3 月 17 日(火)第 31 回常任理事協議会

医師会関係
(議決事項)

1. 本会外の役員等の推薦について

①県新人看護職員研修推進協議会委員の推薦について

→新人看護職員研修事業の推進を図るための協議会の任期満了に伴う推薦依頼であり、引き続き牛谷常任理事を推薦することが承認された。

②県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会委員の推薦について

→県民が安心してジェネリック医薬品を使用できる環境整備等について検討するための協議会の任期満了に伴う推薦依頼であり、引き続き池井常任理事を推薦することが承認された。

2. 会費減免申請について

20 年以上在籍かつ満年齢 83 歳に達するとし、高齢による会費減免(日医) 1 件並びに 20 年以上在籍かつ満年齢 80 歳に達しているとして、高齢による会費減免(県医) 1 件が承認された。

3. 業務委託について

①県医療勤務環境改善事業に関する業務の委託について

→医師・看護師等の医療従事者の離職防止・定着促進や医療安全の確保等を図るため、計画的に勤務環境改善に取り組む医療機関に対して、総合的な支援体制を構築することを目的とする事業であり、契約を締結することが承認された。

②平成 27 年度広域予防接種業務委託契約書の締結について

→予防接種対象者が圏域を超えて接種できるように、県内の全市町村と契約を行うもので、県内統一料金で前年度から診療報酬改定等によるアップ分が上乗せされた額、事務手数料を予診票 1 件あたり 200 円で契約を締結することが承認された。

③平成 27 年度高齢者肺炎球菌感染症定期予防接種に係る広域契約について

→県内市町村に住所のある高齢者に対し、当該市町村外での接種が可能となるよう契約するもので、接種料金 7,489 円は県内統一料金である。市町村によって自己負担金にばらつきがあるが、接種料金から自己負担金を除いた額、事務手数料を予診票 1 件あたり 200 円で契約を締結することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 3 / 11(木)(支払基金)支払基金幹事会について
3. 3 / 12(金)(県庁)県医療介護推進協議会について
4. 3 / 13(土)(県庁)県医療審議会について
5. 3 / 14(日)(県庁)県准看護師試験委員会について
6. 3 / 15(月)(JA A Z M)社会保険医療担当者(医科)の集団的個別指導について
7. 3 / 16(火)(県医)ELLS 指導者養成ワークショップについて
8. 3 / 17(水)(県医)ACLS 研修会について

9. 3 /17~~火~~(県医)治験理事会について
10. 3 /12~~木~~(県医)広報委員会について
11. 3 /11~~水~~(県医)病院部会・医療法人部会臨時理事会について
12. 3 /12~~木~~(県医)県医療勤務環境改善支援センター運営協議会について
13. 3 /16~~金~~(県庁)東九州メディカルバレー構想県推進会議について
14. 3 /12~~木~~(県医)地域リハビリテーション広域支援センター連絡会議について
15. 3 /13~~金~~(宮観ホテル)県産業保健連絡協議会・県産業医研修連絡協議会について
16. 3 /14~~土~~(県医)臨床検査精度管理調査に基づく勉強会について

医師連盟関係

(報告事項)

1. 3 /13~~金~~(JA A Z M)自民党県連総務・支部長合同会議について
2. 3 /15~~日~~(清山とものり選挙事務所)選挙事務所開きについて

平成 27年 3月 24日~~火~~第 32回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 5 /19~~火~~(日医)平成 27年度第 1 回都道府県医師会会長協議会の開催について
河野会長の出席を確認し、提出議題については会長に一任し、役員で質問事項がある場合は、後日申し出ることとなった。
2. 5 /30~~土~~(大分)九医連第 346回常任委員会ならびに九プロ日医代議員連絡会議の開催について
常任委員会への河野会長の出席を確認し、提出議題等については河野会長に一任すること、ならびに九プロ日医代議員連絡会議の出欠については、後日、事務局より確認することが承認された。

3. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎大学医学部附属病院医師研修管理委員会委員の委嘱について

→任期満了に伴う委員委嘱の依頼で、引き続き河野会長を推薦することが承認された。

4. 後期高齢者に係る健康診査の受診率向上に対するご理解とご協力について

後期高齢者の健康寿命の延伸を目的に、健康診査の受診率向上への取組みに協力することが承認された。

5. 平成 27年度重複・頻回訪問指導事業へのご理解とご協力について

後期高齢者の重複服薬者等に対する訪問指導事業への取組みに協力することが承認された。

6. 病床の機能分化・連携を推進するための施設・設備整備補助事業に関するニーズ調査について

県内病院に対する病床の機能分化・連携のニーズ調査について、アンケートの文言等の修正を行った上で、県医師会として協力することが承認された。

7. 4・5月の行事予定について

4月の追加行事と5月の行事について確認が行われた。

(報告事項)

1. 3 /19~~木~~(宮大)宮大経営協議会・学長選考会議について
2. 3 /23~~月~~(県庁)県社会福祉審議会児童福祉専門分科会について
3. 3 /18~~水~~(県庁)県メディカルコントロール協議会について
4. 3 /23~~月~~(日医)日医医療秘書認定試験委員会について
5. 3 /17~~火~~(福岡)シンポジウム「医療事故調査制度に向けた福岡県医師会の取組み」について

6. 3 /23(県庁)県母子保健運営協議会について
7. 3 /24(県庁)県移植推進財団理事会について
8. 3 /23(県医)県民健康セミナーについて
9. 3 /23(県庁)県防災会議について
10. 3 /23(県庁)県歯科保健推進協議会について
11. 3 /23(県医)広報委員会について
12. 3 /19(県医)都道府県医師会地域医療構想(ビジョン)担当理事連絡協議会(TV会議参加)について
13. 3 /21(シーガイア)病院部会・医療法人部会医療従事者研修会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 4 /3(宮崎八幡宮)県議会議員候補 清山 ともりの必勝祈願祭・出陣式について
河野委員長の出席が承認された。

平成27年4月7日(火)第1回常任理事協議会

開会に先立ち、県福祉保健部健康増進課の木内課長と永野課長補佐が来会し新任の挨拶を行った。

医師会関係

(議決事項)

1. 6 /2(大分)平成27年度九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長との合同会議の開催について
河野会長の出席が承認された。また提出議題については、役員で提出議題がある場合には事務局に申し出ることとし、その内容等については、河野会長に一任することとなった。
2. 本会外の役員等の推薦について
 - ①特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づく特別児童扶養手当及び特別障害者手当等の障害程度判定のための嘱託医の推薦

について

→任期満了に伴う推薦依頼で、本会が推薦している泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、精神科(2名)、内科、小児科、整形外科の8名の嘱託医について、再任の方向で先生方の意向を確認し、辞任の申し出があれば専門分科医会に人選をお願いすることが承認された。

- ②生活福祉資金「不動産担保型生活資金審査委員会」の委員への推薦について

→貸付審査等、生活福祉資金貸付制度の適正な運営を図るため設置されている委員会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、引き続き立元常任理事を推薦することが承認された。

- ③宮崎産業保健総合支援センターの運営主幹の推薦について

→任期満了に伴う推薦依頼で、引き続き佐々木(幸)常任理事を推薦することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

- ①5 /30(オルブライトホール)みやにち健康フォーラム「ピロリ菌から胃の健康をまもる」名義後援のお願いについて

→「ピロリ菌から胃の健康をまもる～プロバイオティクスの可能性～」をテーマに、県民を対象に開催されるフォーラムで、名義後援を行うことが承認された。

- ②5 /30(宮観ホテル)2015年度「在宅を支える多職種交流会」名義後援のお願いについて

→在宅を支える職種の方々を対象に「『地域包括ケアシステム』を掘り下げる！～住み良い街づくりのために～」をテーマに開催される交流会で、名義後援を行うことが承認された。

4. 放送協力をお願いについて

NHK総合テレビ(ローカル)「昼前ほっとみやざき」の番組内で、定期的(毎月最終月曜日)に健康情報を伝えていただきたいとのお願いがあり、医師会として協力することが承認された。

5. その他

①臨床研修医の県医師会費について

→3/29日(日)に開催された日医臨時代議員会に関連して、日医が臨床研修医の会費無料化を検討していることから、県医師会としても日医と歩調を合わせ、検討を開始することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 3月末日現在の会員数について

3. 3/25日(県庁)県地域医療支援機構代表者会議・県地域医療対策協議会について

4. 3/26日(県医)県アイバンク協会理事会について

5. 4/1日(宮観ホテル)宮崎市立田野病院指定管理運営開始記念シンポジウムについて

6. 3/28日(東京)全医秘協常任委員会について

7. 3/25日(県庁)県個人情報保護審議会について

8. 3/27日(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

9. 3/29日(日医)九州ブロック日医代議員連絡会議について

10 3/29日(日医)日医臨時代議員会について

11 4/4日(日医)ダライ・ラマ法王来日記念講演会について

12 4/7日(県医)治験審査委員会について

13 3/28日(東京)全医秘協運営委員会について

14 3/27日(JA A Z M)社会保険医療担当者(医科)の個別指導について

15 3/28日(JA A Z M)地域リハビリテーション

研修会について

16 3/30日(県医)都道府県医師会介護保険担当理事連絡協議会復講について

17 4/3日(日医)日医勤務医委員会について

18 4/3日(日医)都道府県医師会産業保健担当理事連絡協議会について

19 3/27日(県医)予防接種委員会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 定期大会代議員名簿提出について

例年定期大会の前に確認が行われるもので、県医師連盟役員で自民党党員の8名(支部長含む)を、代議員として選出することが承認された。

(報告事項)

1. 清山ともり「医師会個人演説会」の開催について

平成 27年 4月 14日(火)第 2 回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 業務委託について

①県医療勤務環境改善事業に関する業務の委託契約について

→医師を含む医療従事者の離職防止・定着等を図ることを目的に、医療勤務環境改善支援センターの設置と医業分野アドバイザー(経営相談)の派遣等を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

②医療労務管理支援事業に関する業務の委託契約について

→医療勤務環境改善支援センター設置に合わせ、医療労務管理アドバイザー(労務相談)の派遣等を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

- ③県立学校における長時間勤務職員に対する
医師による面接指導に係る業務委託契約に
ついて
→主に1か月あたりの超過勤務が80時間を
超え、かつ面接を希望する職員を対象に行
われる指導事業で、今年度から連絡調整に
係る事務費が追加計上され、引き続き契約
を締結することが承認された。
- ④県立学校の児童・生徒を対象とする心臓検
診の委託契約について
→主に県立高等学校の1年生を対象に行わ
れる心臓検診の業務で、昨年同様、委託契
約を締結することが承認された。
- ⑤県立学校児童生徒の定期健康診断における
結核健康診断業務の委託契約について
→定期健康診断の際、学校医が結核の検査
が必要と認められた生徒に対して行われる
診断業務で、昨年同様、委託契約を締結す
ることが承認された。
2. 県立学校健康管理医報酬額について
教職員の健康管理に対する報酬で、1校あ
たりの職員数に応じて分かれており、昨年と
同様の報酬とすることが承認された。

また、児童生徒の健康を守る学校医、教職員
の健康を守る健康管理医等、学校安全への対
応は必ずしも充分と言えないことから、学校
保健全般について県教育委員会と会合を持っ
ことが提案され承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

- ①宮崎がんのリハビリテーション研修会に伴
うご後援のお願いについて
→がん患者に対するリハビリテーションの
推進とがん診療の向上を目的に開催される
研修会で、名義後援を行うことが承認さ
れた。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 4 /13月(県医)医家芸術展世話人会について
3. 4 /11土～13月(京都)日本医学会総会に
ついて
4. 4 /10金(県医)広報委員会について
医師連盟関係

(報告事項)

1. 4 /8水(宮崎市郡医師会館)清山とものり「医
師会個人演説会」について
2. 4 /12日県議会議員選挙について

県医師会在宅医療協議会入会のご案内

県医師会在宅医療協議会は、在宅医療に携わる医師の知識向上、情報交換、並びに在宅医療の普及を目的に平成27年5月に会員130名をもって設立されました。

年数回の研修会開催のほか、現在は地域ごとの在宅医療ネットワーク構築に向け、役員、世話人が奔走しています。また、在宅で困っていること、多職種連携の方法など会員同士の情報交換のためにメーリングリストを運用しています。

ご興味のある先生は、ぜひご入会いただき、いっしょに在宅医療を推進していきましょう。ご入会につきましては、県医師会地域医療課に入会申込書をご請求ください。

＊協議会に入会済みでメーリングリストに加入されていない先生は、事務局までメールアドレスをお知らせください。

お問い合わせ先：宮崎県医師会 地域医療課

TEL 0985 - 22 - 5118

県 医 の 動 き

(4月)

1	宮崎市立田野病院指定管理運営開始記念シンポジウム(会長他)	21	医協理事会(富田理事長他) 第3回常任理事協議会(会長他)
3	(日医)日医勤務医委員会(金丸常任理事) (日医)都道府県医師会産業保健担当理事連絡協議会(佐々木常任理事)	22	労災診療指導委員会(川野理事) 労災部会会計監査 広報委員会(荒木常任理事他) 九州厚生局宮崎事務所との保険医療機関の指導計画等打合せ(会長他)
4	(日医)ダライ・ラマ法王来日記念講演会 (吉田常任理事他)	23	(日医)日医生命倫理懇談会(会長) 県内科医会会計監査(小牧常任理事) 病院部会・医療法人部会合同理事会 (池井常任理事)
6	県産婦人科医会医療保険委員会(濱田副会長)	24	都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会 (日医TV会議参加)(立元常任理事) (日医)日医予防接種・感染症危機管理対策委員会(峰松理事) 県内科医会医療保険委員会(小牧常任理事) 県外科医会全理事会(岩村理事)
7	治験審査委員会(富田副会長他) 第1回常任理事協議会(会長他)	25	県産婦人科医会春期総会(濱田副会長他) ホテル中山荘都城地域健康医療ゾーン完成記念講演会並びに祝賀会(会長他)
8	支払基金幹事会(会長) 清山とものり「医師会個人演説会」(河野委員長)	26	県小児科医会総会・春季学術講演会 (高村常任理事)
10	広報委員会(荒木常任理事他)	27	女性医師委員会(富田副会長他)
11	(京都)日本医学会総会(会長他)	28	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (濱田副会長) 第1回全理事協議会(会長他) 医協理事・運営委員合同協議会(会長他) 新研修医保険診療等説明会及び祝賀会(会長他)
12	(京都)日本医学会総会(会長他) (県議会議員選挙投票日)	30	(日医)日医ワークショップ「会員の倫理・資質向上をめざして」(立元常任理事) 県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会 (金丸常任理事)
13	(京都)日本医学会総会 医家芸術展世話人会(濱田副会長他)		
14	県知事・副知事・各部長と経済団体協議会との意見交換会(会長) 医協打合せ会(立元副理事長) 第2回常任理事協議会(富田副会長他)		
15	県産婦人科医会会計監査(濱田副会長)		
16	産業医部会理事会(会長他) 県産婦人科医会全理事会(濱田副会長他)		
17	医師国保組合理事会(秦理事長他) 医師国保組合ロコモ啓発推進委員会 (濱田副会長他)		
20	県臨床研修運営協議会(会長他)		

追悼のことば

都城市北諸県郡医師会

宮永家昌先生

(昭和2年7月15日生 89歳)

弔 辞

本日ここに、今は亡き宮永家昌先生のご葬儀が執り行われるにあたり、都城市北諸県郡医師会を代表いたしまして、謹んで哀悼の意を表し、お別れの言葉を申し上げます。

先生は、これまで地域医療一筋にご活躍をされてこられました。

先生が体調を崩され、長い間、ご入院されているとお聞きいたしておりましたので、私ども会員一同、一日も早い回復を念じておりました。

しかし、残念ながら先生は、去る4月14日、医療スタッフの懸命な治療や、奥様をはじめ、ご家族の手厚い看護にもかかわらず、午後1時3分、帰らぬ人となりました。前会長の夏田康則先生より、最近、家昌先生の体調がすぐれないとお聞きはしておりましたが、突然の訃報で、ただただ驚くほかありませんでした。

先生急逝の知らせは、程無く全会員に伝えられ、会員一同、深い悲しみに包まれているところでございます。

ましてや、奥様をはじめ、ご遺族の皆様方のご悲嘆は、如何ばかりかと心中をお察し申し上げます。私ども医師会員一同、心より哀悼の意を表する次第でございます。

先生は、昭和2年7月15日、地元都城市にお生まれになられました。長じて医学の道を志し、昭和25年に九州帝国大学附属医学専門部をご卒業され、国立都城病院にて実地修練を積み、

医師としてのスタートをきられました。

昭和29年からは、鹿児島県立鹿児島大学医学部助手を拝命され研鑽を積まれました。昭和31年には医学博士の学位も取得されておられます。

昭和33年には地域医療に貢献されるべく、都城市松元町に「宮永病院」を開業されました。以来、今日まで、5年の永きにわたり、地域住民の医療、保健、福祉の向上にご尽力されてこられました。

先生は、私ども医師会活動におきましても、多忙な診療の傍ら、都城市北諸県郡医師会理事を昭和5年から2年間、副会長を昭和5年から4年間、歴任されました。また、先日、移転いたしました現在の都城健康サービスセンターの前身である、都城地区総合保健センターの初代検査副部長を、昭和4年9月の開設当初から11年7か月、また、読影委員を昭和4年から10年間、お引き受けいただき、地域住民の健康管理に多大なるご貢献をいただきました。これらのご功績に対し、対ガン事業功労として、昭和62年に県対ガン協会理事長表彰を受賞されておられます。

また、産業医制度が法制化されたことに伴い、昭和52年に「都城産業医部会」が発足し、翌昭和53年に「都城市北諸県郡西諸医師会産業医部会」となり、初代産業医部会長に就任されておられます。

先生は、看護師の養成にも積極的に取り組まれ、都城看護専門学校の講師を30年間務められ、学生の実習受入れにも多大なるご協力をいただきました。

また、都城市立五十市小学校の学校医を昭和3年から34年間の永きにわたり務められ、児童の保健衛生並びに健康管理に精力的に取り組まれました。これらのご功績に対し、平成元年に

学校保健功勞として、宮崎県教育長表彰を受賞されておられます。

先生には、前医師会長で現在、当医師会の顧問をされておられる、夏田康則先生が後継者として、ご意志を継いで地域医療に取り組まれておられますので、先生もさぞかしご安心のことと思います。

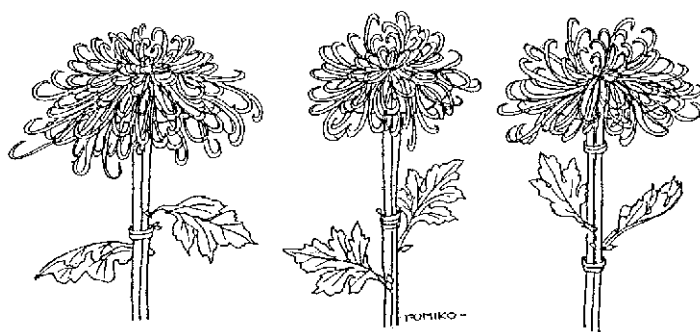
一方、診療を離れると先生は、若い頃は、会員の先生方とゴルフを楽しんでいたと伺っております。お酒もお好きで、ビールをご愛飲されていたとお聞きいたしております。

これからは、先生、どうか遥か浄土よりご家庭の安泰とご繁栄、医師会の発展を末永く見守りください。

先生がこれまで地域医療の発展にご尽力された数々のご功績に対し、深い尊敬と感謝の念を表し、先生のご冥福を心よりお祈り申し上げ、お別れの言葉と致します。

平成 2 年 4 月 16 日

一般社団法人都市北諸県郡医師会
会長 飯 田 正 幸



追悼のことば

南那珂医師会

内村利男先生

(大正12年3月5日生 93歳)

弔 辞

本日ここに、故 内村利男先生のご葬儀が執り行われるにあたり、南那珂医師会を代表いたしまして、謹んで哀悼の意を表し、ご霊前にお別れの言葉を申し上げます。

4月9日午後2時55分に先生がお亡くなりになったとの突然のご訃報に接しまして、何とも申し上げる言葉もなく、会員一同驚きと深い悲しみに包まれております。

平成19年の1月に肺炎で体調を崩され入院をされていましたが、長期にわたる入院ということもあり大変心配をいたしておりました。この度の突然のご逝去は誠に痛恨の念に絶えず残念で仕方ありません。ましてやご家族ご親族の皆様のご悲嘆は如何ばかりかとお察し申し上げ、医師会員一同衷心より哀悼の意を表する次第でございます。

先生は、昭和18年11月に^{ハルビン}哈爾濱医科大学を卒業になり、翌月の昭和18年12月に応召・入隊され、終戦後シベリヤ抑留、昭和22年10月の復員後は、昭和23年1月に鹿児島県立鹿児島大学産婦人科へ入局、昭和26年8月から愛媛県東宇和郡野村町野村病院に、昭和29年4月から鹿児島県立鹿屋病院にご勤務になり、その後、小林市立小林病院・北諸県郡荘内町立荘内病院に勤務され、昭和37年10月に南那珂郡南郷町(現在の日南市南郷町)にて産婦人科・外科をご開業、温厚なお人柄と誠実なご性格で地域住民にひとしく敬愛され、信望を集めておられました。

開業と同時に、南郷小学校の学校医や目井津

保育所の園医として長年に亘り児童・園児の健康管理と保健予防に献身的に取り組まれ、児童・園児の健やかな成長にも多大な役割を果たされました。

また、先生は南那珂医師会の副議長として昭和47年4月から昭和53年3月までの4年間、及び、理事として昭和53年4月から昭和59年3月までの4年間の通算8年間、医師会の役員を務められ、私達会員の為に医師会活動にも積極的にご尽力賜りました。

昭和59年4月から昭和61年3月までの4年間には、宮崎県母性保護医協会役員を務められるなど、先生の数々のご功績により、昭和59年9月には日本母性保護医協会会長表彰、平成5年10月には宮崎県学校保健功労により宮崎県教育長表彰という栄誉を受けておられます。

これまで先生が地域医療の発展のために尽くしてこられたご遺志は、現在、ご子息の利博先生が立派に受け継いでおられます。

私達会員は現在の厳しい医療制度の中にあっても地域住民の健康を第一に考えて、医師としての倫理を保ちながら、地域住民の医療・保健・福祉の発展の為に日々の診療を行って参りたいと思いますので、どうかこれからも天国から私達会員を見守っていただきたいと思います。

最後になりましたが、先生の永年に亘る地域医療へのご貢献に対しまして、会員一同深い尊敬と感謝の言葉を捧げますと共に、心からご冥福をお祈り申し上げ、お別れの言葉といたします。

内村利男先生、どうぞ安らかに眠りください。

平成27年4月12日

一般社団法人南那珂医師会

会長 島田 雅弘

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成 27 年 4 月 15 日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 4 人

1) 男性医師求職登録数 4 人 (人)

希 望 診 療 科 目	求 職 数	常 勤	非 常 勤
内 科	3	2	1
外 科	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 0 人

2. 斡旋成立件数 49 人

(人)

	男性医師	女性医師	合 計
平 成 26 年 度	1	1	2
平成 16 年度から累計	35	14	49

3. 求人登録 86 件 322 人

(人)

募 集 診 療 科 目	求 人 数	常 勤	非 常 勤
内 科	104	77	27
外 科	28	24	4
整 形 外 科	25	22	3
精 神 科	19	17	2
循 環 器 科	8	7	1
脳 神 経 外 科	12	9	3
消 化 器 内 科	12	10	2
麻 酔 科	12	9	3
眼 科	6	5	1
放 射 線 科	10	9	1
小 児 科	2	1	1
呼 吸 器 内 科	10	9	1
リハビリテーション科	6	5	1
総合診療科・内科	7	6	1
神 経 内 科	7	6	1
救 命 救 急 科	7	7	—
健 診	3	1	2
産 婦 人 科	1	1	—
泌 尿 器 科	1	—	1
検 診	4	2	2
皮 膚 科	3	2	1
人 工 透 析	4	4	—
在 宅 担 当 医	1	1	—
そ の 他	30	26	4
合 計	322	260	62

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
160011	赤十字血液センター	宮 崎 市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳外, 整, 放, 麻, 内	10	常勤・非常勤
160017	医)プレストピア プレストピアなんば病院	宮 崎 市	乳外, 内, 麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精, 内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼, 神内, 眼, 総診, 呼外, 臨病, 乳外, 整外, 麻酔	11	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮 崎 市	精	2	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	消内, 内分泌内, 呼, リウマチ, 神経内, 健診	6	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内, 放, 在宅医療	3	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内, 神内, 整, 消内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	消内, 呼内, 総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮 崎 市	内, 外, 整	8	常勤・非常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	1	常勤
190096	医)晴緑会 宮崎医療センター病院	宮 崎 市	消化, 麻, 循, リハビリ	5	常勤・非常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内, 外, 救急, 呼外, 婦人, 整, 麻	7	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮 崎 市	内, 外, 放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮 崎 市	内, 整, リハビリ	7	常勤・非常勤
230128	医)真愛会 高宮病院	宮 崎 市	内, 精	2	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮 崎 市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮 崎 市	精	1	常勤
230139	介護老人保健施設サンフローラムやざき	国 富 町	内, 外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮 崎 市	脳外, 内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮 崎 市	総内, 呼吸内, 消化器内, 健診	8	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮 崎 市	内, 神内, 外, 整外, 脳外, リハ, 麻酔, 救急, 緩和ケア	10	常勤
230148	医)コムロ美容外科	宮 崎 市	美外, 形成外, 外, 麻酔	8	常勤・非常勤
230161	医)建心会 滝口内科医院	宮 崎 市	内	2	常勤・非常勤
230164	宮崎県保健所	宮 崎 市	公衆衛生	3	常勤
230165	野崎病院健診センター	宮 崎 市	健診	1	非常勤
230171	医)いなほ会日高医院	宮 崎 市	内	1	非常勤
160008	医)正立会 黒松病院	都 城 市	泌	1	非常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内, 消内, 整, 神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都 城 市	内, 救急, 放射, 脳外, 外, 眼, 透内, 皮膚	8	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都 城 市	内, 外, 整	3	常勤
180064	国立病院機構都城病院	都 城 市	消内, 内, 呼内, 総合内	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都 城 市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内, 呼	6	常勤
210114	藤元病院	都 城 市	精, 内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	外, 内, 整	7	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都 城 市	不問	1	常勤

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都 城 市	内,リハビリ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都 城 市	内	1	非常勤
230157	医)一誠会 都城新生病院	都 城 市	精,内	4	常勤・非常勤
230162	藤元総合病院	都 城 市	内,透,循内,救急,放射, 病理,呼吸内,精	16	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都 城 市	内	4	常勤・非常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延 岡 市	外,整,放,内	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	3	常勤・非常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	外,内,緩ケア	6	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内,小	3	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内,消外,内	5	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小	2	非常勤
230151	介護老人保健施設エクセルライフ	延 岡 市	内	1	常勤
230156	医)中心会 野村病院	延 岡 市	内,外	2	常勤
230163	堺胃腸科内科クリニック	延 岡 市	内	1	非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,内,整,神内	6	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美 郷 町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美 郷 町	内	1	常勤
230160	日向市立東郷病院	東 郷 町	内,整	2	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内,放,外	3	常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整,内,総合診療,麻,眼, 健診,循,脳	10	常勤・非常勤
230170	介護老人保健施設なでしこ園	高 鍋 町	内	1	常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内,外	2	常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	精	1	常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内	2	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内(いずれか)	1	常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,外,整,リハビリ,在宅診療	5	常勤
180071	串間市市民病院	串 間 市	内,外	2	常勤
230138	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
230149	介護老人保健施設おびの里	日 南 市	内	2	常勤・非常勤
230166	医)秀英会 英医院	串 間 市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	7	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内,皮膚	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	救急,総合診療,放	5	常勤
180076	医)友愛会 園田病院	小 林 市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精,内	3	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内	4	常勤・非常勤
230155	医)三和会 池田病院	小 林 市	脳外,内,放射,外,リハビリ	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設さわやかセンター	小 林 市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 せの内科クリニック	小 林 市	内	2	常勤
230173	医)高千穂会 大森内科	小 林 市	内	2	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内,整	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 27 年 4 月 15 日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田 263 番, 263 番 土地のみ: 593.5 坪 (2022.17m ²) ＜所有者: 児湯医師会員 (医) 松雲会 林クリニック＞
2. 譲渡又は 賃貸物件	② 宮崎市大字本郷南方 407 番 建物: 鉄筋コンクリート 2 階建 (905m ²) ※駐車場: 14 台分 別途職員専用駐車場有り ＜黒岩医院跡＞

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の 9 時～12 時及び 13 時～17 時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyoku@m-iyazakim-ed.or.jp

あなたできますか？ (解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
d	a, c	a, d, e	a	c	a, b, d	a, c	c, e	b	b

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 27年 4 月 28日現在

5 月			
1	金	19: 00 地域医療構想に関する打合せ会	17 日
2	土		18 月
3	日	(憲法記念日)	19 火
4	月	(みどりの日)	
5	火	(こどもの日)	20 水
6	水	(振替休日)	21 木
7	木	19: 00 県糖尿病対策推進会議小幹事会	22 金
8	金	15: 00 (日医)日医財務委員会 19: 00 県警察医会協議会	23 土
9	土	14: 30 産業医部会総会・研修会(TV 会議)	24 日
10	日		25 月
11	月		26 火
12	火	18: 00 治験審査委員会 18: 20 医協打合せ会 19: 00 第 4 回常任理事協議会	27 水
13	水	14: 00 (日医)都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会 16: 00 支払基金幹事会 19: 00 県内科医会学術委員会	28 木
14	木	14: 00 宮崎市要保護児童対策地域協議会 19: 30 県産婦人科医会常任理事会 19: 30 広報委員会	29 金
15	金	10: 00 地方公務員災害補償基金県支部審査会	30 土
16	土		31 日

※都合により、変更になることがあります。
行事予定はホームページからもご覧になれます。

↑ 国 保
社 審
保 査
↓ 審 査

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 27 年 4 月 28 日現在

6 月			
1	月		15 月 19: 30 広報委員会
2	火	15: 00 県学校保健会理事・評議員会	16 火 19: 00 第 7 回常任理事協議会
		16: 00 学校保健・学校安全に係る表彰審査会	17 水
		18: 00 治験審査委員会	18 木
		18: 20 医協打合せ会	19 金
		19: 00 第 6 回常任理事協議会	
3	水		
4	木	15: 00 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会	20 土 県医連執行委員会 県医定例代議員会 高木兼寛先生銅像除幕式 県医総会記念講演 県医総会
		18: 30 県医監事監査	
5	金	18: 30 病院部会・医療法人部会定時総会 19: 00 県内科医会評議員会	21 日 13: 30 医療メディエーター養成研修会 導入編
6	土	15: 30 勤務医部会総会・講演会	
7	日		22 月 19: 00 医師国保組合定例事務監査
8	月		23 火 19: 00 医師協同組合通常総代会
9	火	18: 15 医協理事会 19: 00 第 1 回理事会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会	24 水 15: 00 労災診療指導委員会 19: 00 広報委員会
			25 木
10	水	16: 00 支払基金幹事会	26 金 九医連常任委員会 17: 00 九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議 18: 00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 19: 00 医師国保組合理事会
11	木	15: 00 全国医師国保組合協会通常総会 19: 30 県産婦人科医会常任理事会	
		17: 30 宮崎大学医学部附属病院マッチング説明会&県内基幹型臨床研修病院合同説明会	
12	金		27 土 11: 30 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会 13: 30 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会総会・全体研修会 19: 00 九州ブロック日代議員連絡会議懇親会
		15: 00 日向市東臼杵郡医師会定時総会 15: 00 県外科医会理事・評議員会 15: 00 県整形外科医会理事・評議員会 15: 30 県外科医会総会 15: 30 県整形外科医会総会 16: 00 県内科医会総会・学術講演会 16: 10 労災部会総会 17: 00 県外科医会・県整形外科医会・労災部会総会・合同学会	
13	土		28 日 9: 00 (日医)九州ブロック日医代議員連絡会議 9: 30 (日医)日医定例代議員会
			29 月 14: 30 宮大経営協議会
14	日		30 火 19: 00 第 8 回常任理事協議会

※都合により、変更になることがあります。
行事予定はホームページからご覧になれます。

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E -M a i l : g e n k o @ m i y a z a k i m e d . o r . j p

F A X : 0 9 8 5 - 2 7 - 6 5 5 0

T E L : 0 9 8 5 - 2 2 - 5 1 1 8

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAX の際は、このページを切り取り、
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985 -27 -6550

き
り
と
り
せ
ん

お名前：

ご所属：

TEL：

FAX：

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会。（胃・大腸・肺・乳）

※アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単位	CC ・ がん 検診
第 42 回 宮 崎 大 腸 肛門疾患研究会 5 月 8 日(金) 19: 00～ 20: 30 ホテルJA Lシティ 宮崎	大腸癌の診断・治療から緩和ケアまで一日経新聞の 50施設に選定されて－ 潤和会記念病院副院長 岩村 威志	◇共催 宮崎大腸肛門疾患研究会 ※武田薬品工業(株) ☎ 0985-24-6763 天藤製薬(株)	1.5	54 55 81 大腸
平成 27 年度心臓検 診一次検討会(前期) 5 月 8 日(金) 19: 30～ 20: 30 日向市東臼杵郡 医師会館	症例検討会	◇主催 日向市東臼杵郡医師会心臓検診班 ◇後援 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222	1	11 43
宮崎県医師会産業 医研修会 5 月 9 日(土) 15: 00～ 18: 30 県医師会館(TV 会 議：都城・延岡・ 日向・児湯・西都・ 南那珂・西諸)	(1)総論または(1)労働安全関係法規と関係通達の改正 労働安全衛生関係法令について(仮) 宮崎労働局労働基準部 健康安全課長 菱井 年 (8)有害業務管理 もう一度アスベストクボタショックから 10 年－ 産業医科大学学長 東 敏昭 基礎研修の後期研修会，生涯研修の更新および専門 研修会：3.5 単位	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	3.5	1 3 4 7 8 9 84

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
第39回 宮崎CT 研究会 5月9日(土) 16:00～19:30 MRT・micc	腹部造影法のABC 熊本大学大学院放射線診断学分野 教授 山下 康行 参加費：500円	◇共催 宮崎CT研究会 バイエル薬品(株) (連絡先) 宮崎大学放射線科 ☎ 0985-85-2807	3	2 8 13
第70回 宮崎整形 外科懇話会 5月9日(土) 18:00～19:00 宮崎大学医学部 臨床講義室	小児の上腕骨遠位端骨折と後遺症、そのサルベージ 大阪病院救急部 /スポーツ医学科 部長 島田 幸造 参加費：1,000円	◇共催 宮崎整形外科懇話会 宮崎県整形外科医会 大正富山医薬品(株) (連絡先) 宮崎大学整形外科 ☎ 0985-85-0986	1	57 61
宮崎市産婦人科 医会5月例会 5月11日(月) 19:00～20:30 県医師会館	超音波を使った乳癌検診：読影のポイント まつ婦人科クリニック院長 松 敬文	◇主催 宮崎市産婦人科医会	1	9 11
宮崎県医師会産業 医研修会 5月13日(水) 14:00～16:00 県医師会館	(1)労働安全関係法規と関係通達の改正 改正労働安全衛生法にもとづくストレスチェックに ついて 宮崎大学医学部名誉教授 鶴 紀子 生涯研修の更新研修会：2単位	◇共催 宮崎産業保健総合支援センター ※宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	5 7 69 70

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
C 型肝炎治療講演会 5 月 13 日(水) 19: 15~ 20: 15 ホテル四季亭	C 型肝炎治療における病診連携について(仮) 宮崎大学医学部附属病院肝疾患センター 准教授 永田 賢治	◇共催 ※児湯医師会 ☎ 0983-22-1641 ブリストル・マイヤーズ(株)	1	9 73
延岡医学会学術講演会 5 月 15 日(金) 19: 00~ 20: 15 ホテルメリージュ 延岡	MDS・白血病の治療 宮崎大学医学部内科学講座消化器血液学分野 教授 下田 和哉	◇共催 延岡医学会 ※持田製薬(株) ☎ 0985-23-3130 ◇後援 延岡内科医会	1	2 9
第 7 回宮崎てんかん実践フォーラム 5 月 15 日(金) 19: 00~ 20: 45 ニューウェルシティ 宮崎	臨床てんかんの最近の話題“臨床と研究の密接な 関連” 京都大学医学研究科教授 池田 昭夫 参加費: 500 円	◇共催 宮崎てんかん実践フォーラム ※グラクソ・スミスクライン(株) ☎ 080-1020-4326	1.5	2 32 35
宮崎県医師会産業 医研修会 5 月 15 日(金) 19: 00~ 21: 00 南那珂医師会館	(3)健康管理 職場における糖尿病対策 都城市郡医師会病院副院長 中津留 邦展 生涯研修の専門研修会: 2 単位	◇共催 宮崎産業保健総合支援センター ※宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	5 11 76 82

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
第2回実地医家の ための心エコー図 勉強会 5月15日(金) 19:00～20:30 野村循環器内科 クリニック	心筋梗塞の心エコー図：壁運動の診かた 宮崎市郡医師会病院検査科科长 渡邊 望	◇共催 ※宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119 興和創薬(株)	1.5	8 11 13
第14回宮崎緑内障 セミナー 5月16日(土) 18:00～20:05 KITEN	日常診療で迷う緑内障症例(仮) 新城眼科医院理事長 風間 成泰 緑内障チューブシャント手術総論 佐々木眼科医院院長 佐々木 究 東邦大学医療センター大橋病院眼科 准教授 石田 恭子 参加費：2,000円	◇共催 宮崎緑内障研究会 ※ファイザー(株) ☎080-5001-3917	2	36
宮崎市郡外科医会 5月例会 5月18日(月) 19:30～20:30 宮崎観光ホテル	これまでの肝胆膵外科における臨床と研究の取り組み 宮崎大学医学部外科学講座肝胆膵外科学 教授 七島 篤志	◇共催 宮崎市郡外科医会 大鵬薬品工業(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-53-3434	1	2 10
第10回児湯内科医 会学術講演会 5月19日(火) 19:10～20:40 ホテル四季亭	SGLT2阻害薬の上手な使い方ー体組成や食行動へ の影響を含めてー(仮) 二田哲博クリニック姪浜院長 下野 大	◇共催 ※児湯内科医会 ☎0983-22-1641 アストラゼネカ(株) 小野薬品工業(株)	1.5	8 19 23

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
宮崎県医師会産業 医研修会 5 月 21 日(木) 14: 00~ 16: 00 県医師会館	(4)メンタルヘルス対策 都城新生病院 生涯研修の専門研修会: 2 単位 前原 正法	◇共催 宮崎産業保健総合支援センター ※宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118	2	6 11 69 70
第 19 回宮崎県泌尿 器科医会 5 月 21 日(木) 18: 50~ 20: 30 宮崎観光ホテル	生体ドナーの為に腹腔鏡下手術の進歩とレシピエ ントの為に免疫抑制の進歩 東京歯科大学市川総合病院泌尿器科 教授 中川 健 他一般演題	◇共催 宮崎県泌尿器科医会 宮崎県透析医会 アステラス製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部泌尿器科 ☎ 0985-85-2968	1.5	64 65 66
宮崎市郡医師会 5 月例会・しのめ 医学会特別講演会 5 月 21 日(木) 19: 00~ 19: 45 宮崎観光ホテル	フレイルの考え方と予防 国立長寿医療研究センター 総長 鳥羽 研二	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎ 0985-53-3434	0.5	11
西諸医師会・西諸 内科医会合同学術 講演会 5 月 22 日(金) 19: 00~ 21: 00 ガーデンベルズ 小林	高血圧診療における診断の実際と理想的な降圧薬の 選択について 国立循環器病研究センター 高血圧・腎臓科医長 岩嶋 義雄	◇共催 ※西諸医師会 ☎ 0984-23-2113 西諸内科医会 第一三共(株)	2	2 73 74 82

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
平成27年度心臓検 診二次検討会(前期) 5月22日(金) 19:30~20:30 日向市東臼杵郡 医師会館	症例検討会	◇主催 日向市東臼杵郡医師会心臓検診班 ◇後援 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222	1	33 44
平成27年度宮崎県 医師会死体検案研 修会 5月23日(土) 16:00~18:00 県医師会館	一般講演 当院におけるA型で死因がくも膜下出血と判明した 症例報告および考察 柳田病院 柳田 美津郎 オートプシー・イメージング自験例を振り返ってー 宮崎大学医学部附属病院放射線部 助教 新川 慶明 特別講演 Aを活用した死体検案の実際 川口病院院長 川口 英敏	◇共催 ※宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118 宮崎県警察医会	2	1 5 8 10
第9回宮崎市郡医 師会心臓病研究会 5月26日(火) 19:00~20:15 宮崎観光ホテル	循環器疾患における抗血小板剤療法の最新の話 倉敷中央病院循環器内科 主任部長 門田 一繁	◇共催 ※宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 サノフィ(株)	1	2 9
宮崎県内科医会学 術講演会 5月26日(火) 19:00~20:30 宮崎観光ホテル	SGLT2阻害剤の適正症例の検討 宮崎大学医学部内科学講座 神経呼吸内分泌代謝学分野助教 上野 浩晶 グルカゴンの視点からみた糖尿病治療薬 群馬大学生体調節研究所代謝シグナル解析分野 教授 北村 忠弘	◇共催 宮崎県内科医会 大正富山医薬品(株) ※ノバルティスファーマ(株) ☎ 0985-28-6228	1.5	15 76 82

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
宮崎市郡内科医会 学術講演会 5 月 29 日(金) 19: 35~ 20: 35 宮崎観光ホテル	生活習慣病と骨粗鬆症について 帝京大学ちば総合医療センター第三内科 教授 岡崎 亮	◇共催 宮崎市郡内科医会 小野薬品工業(株) (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎ 0985-53-3434	1	77 82
都城地区整形外科 医会学術講演会 6 月 5 日(金) 19: 30~ 20: 30 都 城 ロ イ ヤ ル ホテル	股関節外科治療の Up to Date—手術適応と手技の 工夫— 飯田病院整形外科医長 中村 好成 参加費: 1,000円	◇共催 都城地区整形外科医会 ファイザー(株) エーザイ(株) (連絡先) 都城市北諸県郡医師会 ☎ 0986-22-0711	1	61 62
第 16 回宮崎県眼科 医会講習会 6 月 6 日(土) 16: 00~ 19: 00 ホテル JAL シティ 宮崎	OCT と緑内障 鹿児島大学医学部眼科学教室助教 山下 高明 硝子体手術の最近の話題(仮) 佐賀大学医学部眼科学講座教授 江内田 寛 参加費: 3,000円	◇共催 ※宮崎県眼科医会 ☎ 0985-28-1015 ファイザー(株)	2	36
宮崎の健康寿命を 考える会 6 月 10 日(水) 19: 00~ 20: 45 ガーデンテラス 宮崎	健康寿命の延伸と SERM の役割—初発椎体骨折予防 と骨粗鬆症マネージャーの関わり方— 三財病院副院長 松本 英裕	◇共催 宮崎県臨床整形外科医会 ※ファイザー(株) ☎ 092-281-7031	1.5	10 77 82

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
第19回宮崎NST 研究会 6月13日(土) 15:00～18:15 メディキット県民 文化センター	リハ栄養のコンセプトから実践へ 熊本リハビリテーション病院 リハビリテーション科栄養管理部長 吉村 芳弘 他一般演題 参加費: 1,000円	◇共催 宮崎NST研究会 宮崎県プライマリ・ケア研究会 宮崎県栄養士会 宮崎県病院薬剤師会 ※(株)大塚製薬工場 ☎090-5918-0232	3	10 13 21 47 58 80
県外科医会・県整 形外科医会・県医 師会労災部会合同 学会 6月13日(土) 17:00～18:00 県医師会館	交通事故等が原因による心的外傷後ストレス障害 (PTSD)について(仮) 宮崎大学医学部臨床神経科学講座 精神医学分野教授 石田 康	◇共催 県外科医会 県整形外科医会 ※県医師会労災部会 ☎0985-22-5118	1	68 70
木曜会学術講演会 6月18日(木) 19:15～21:00 MRT micc	タケキャブによる消化管疾患の新展開 ゆち内科胃腸科クリニック院長 湯地 宏明 消化管出血に対する内視鏡診療の現状 広島市立安佐市民病院内視鏡内科兼消化器内科 主任部長 永田 信二	◇共催 宮崎木曜会 ※武田薬品工業(株) ☎0985-24-6763	1.5	9 16 50
平成27年度心臓検 診一次検討会(後期) 6月19日(金) 19:00～21:00 日向市東臼杵郡 医師会館	症例検討会	◇主催 日向市東臼杵郡医師会心臓検診班 ◇後援 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222	2	11 33 43 44

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
第 27回日本運動器 科学会 7月4日(土) 12: 45~ 13: 45 宮崎観光ホテル	運動療法とマイオカイン 広島大学病院リハビリテーション科 教授 木村 浩彰 参加費: 10,000円	◇共催 第27回日本運動器科学会 日本臓器製薬(株) (連絡先) 宮崎大学整形外科 ☎ 0985-85-0986	1	11 13
第 27回日本運動器 科学会 7月4日(土) 12: 45~ 13: 45 宮崎観光ホテル	骨粗鬆症に対する運動療法 日高整形外科病院院長 日高 滋紀 参加費: 10,000円	◇共催 第27回日本運動器科学会 M SD (株) (連絡先) 宮崎大学整形外科 ☎ 0985-85-0986	1	60 77
第 27回日本運動器 科学会 7月4日(土) 12: 45~ 13: 45 宮崎観光ホテル	関節リウマチのトータルマネジメント 埼玉医科大学医学部整形外科学教室 主任教授 織田 弘美 参加費: 10,000円	◇共催 第27回日本運動器科学会 エーザイ(株) (連絡先) 宮崎大学整形外科 ☎ 0985-85-0986	1	10 61
第 27回日本運動器 科学会 7月4日(土) 14: 30~ 15: 30 宮崎観光ホテル	ロコモ対策は脊椎・脊髄病疾患の治療と予防が大事 です 福島県立医科大学会津医療センター 教授 白土 修 参加費: 10,000円	◇主催 第27回日本運動器科学会 (連絡先) 宮崎大学整形外科 ☎ 0985-85-0986	1	59 62

名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
第2回日本運動器 科学会 7月4日(土) 15:30～16:30 宮崎観光ホテル	運動器疾患の未来 田辺整形外科医院院長 田辺 秀樹 参加費: 10,000円	◇主催 第2回日本運動器科学会 (連絡先) 宮崎大学整形外科 ☎ 0985-85-0986	1	7 14
平成27年度心臓検 診二次検討会(後期) 7月10日(金) 19:00～21:00 日向市東臼杵郡 医師会館	症例検討会	◇主催 日向市東臼杵郡医師会心臓検診班 ◇後援 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222	2	11 33 43 44
第26回宮崎リウマ チ医の会 7月11日(土) 15:00～18:10 MRT micc	膠原病の診断と治療 聖路加国際病院 Im m u n o - R h e u m a t o l o g y C e n t e r センター長 岡田 正人 シェーグレン症候群 vs IgG 4関連疾患 筑波大学医学医療系内科(膠原病・リウマチ・ アレルギー)教授 住田 孝之 上肢の関節リウマチに対する人工関節置換術 東邦大学医学部整形外科学講座 教授 池上 博泰	◇共催 宮崎リウマチ医の会 ※旭化成ファーマ(株) ☎ 0985-28-2736	3	2 5 8 19 28 61

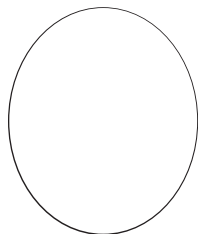
名称・日時・場所	演 題	主催・共催・後援 ※ = 連絡先	単 位	CC ・ がん 検診
平成 27 年度学童心 臓検診第三次検討 会及び講演会 7 月 25 日(土) 15:00~18:00 日向市中央公民館	致死性不整脈を知ろう(仮) 宮崎大学医学部附属病院小児科病院 教授 高木 純一	◇主催 日向市東臼杵郡医師会心臓検診班 ◇後援 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222	3	11 33 43 44

日本医師会生涯教育カリキュラム (2009)

カリキュラムコード(略称:CC)

1 専門職としての使命感	29 認知能の障害	57 外傷
2 継続的な学習と臨床能力の保持	30 頭痛	58 褥瘡
3 公平・公正な医療	31 めまい	59 背部痛
4 医療倫理	32 意識障害	60 腰痛
5 医師-患者関係とコミュニケーション	33 失神	61 関節痛
6 心理社会的アプローチ	34 言語障害	62 歩行障害
7 医療制度と法律	35 けいれん発作	63 四肢のしびれ
8 医療の質と安全	36 視力障害, 視野狭窄	64 肉眼的血尿
9 医療情報	37 目の充血	65 排尿障害(尿失禁・排尿困難)
10 チーム医療	38 聴覚障害	66 乏尿・尿閉
11 予防活動	39 鼻漏・鼻閉	67 多尿
12 保健活動	40 鼻出血	68 精神科領域の救急
13 地域医療	41 嘔吐	69 不安
14 医療と福祉の連携	42 胸痛	70 気分の障害(うつ)
15 臨床問題解決のプロセス	43 動悸	71 流・早産および満期産
16 ショック	44 心肺停止	72 成長・発達の障害
17 急性中毒	45 呼吸困難	73 慢性疾患・複合疾患の管理
18 全身倦怠感	46 咳・痰	74 高血圧症
19 身体機能の低下	47 誤嚥	75 脂質異常症
20 不眠	48 誤飲	76 糖尿病
21 食欲不振	49 嚥下困難	77 骨粗鬆症
22 体重減少・るい瘦	50 吐血・下血	78 脳血管障害後遺症
23 体重増加・肥満	51 嘔気・嘔吐	79 気管支喘息
24 浮腫	52 胸やけ	80 在宅医療
25 リンパ節腫脹	53 腹痛	81 終末期のケア
26 発疹	54 便秘異常(下痢・便秘)	82 生活習慣
27 黄疸	55 肛門・会陰部痛	83 相補・代替医療(漢方医療を含む)
28 発熱	56 熱傷	84 その他

診療メモ



「心臓が悪くても元気で長生きできる！」 ～心臓リハビリテーションのすすめ～

江南病院 ^{わた}渡 ^{なべ}邊 ^{れい}玲 ^こ子

(序章) ある患者Aさん(70歳, 農業)の不幸な転帰

Aさんは畑で作業中, 心筋梗塞となり入院。手術は無事成功。医者より「退院後は無理しないで」といわれ退院。家族からは「仕事はせず家で安静に」といわれ, 本人も再発作が心配です。仕事はやめ家に閉じこもり, 食事とTVを見るだけの生活。体重は増え, 糖尿病も悪化。足腰も徐々に弱り, 近所づきあいも減り, もの忘れも出てきました。ある日自宅で再び倒れ, 病院で再度心筋梗塞と診断されました…。

心臓の病気になったら, 日常生活が制限される!?

心臓の病気になった患者さんが不幸な転帰をたどるのは, 患者さんが自身の身体の手取り扱いについて理解しておらず, または医療者からも適切な説明を受けていないため, 多くは過度の安静をとってしまうからです。根拠のない過度の安静は, 患者さんのQOLを下げるだけでなく, 生活習慣病を悪化させ, 心事故の再発率も上げてしまいます。

虚血性心疾患(HD)の治療。技術が発達しているのに, 長期予後は変わっていない!?

この数十年でカテーテルによる手術(PCI)の技術はめざましい進歩をとげました。しかし, 患者さんの長期予後(10年間の心事故回避率)には変化がないという小倉記念病院のデータがあります。技術の進歩で, PCIを施行した部位の再狭窄率はたしかに減少しました。では再度の心事故の原因は为什么呢? 再発原因の多くは, 新規病変なのです。HDの主因は動脈硬化です。つまり大もとである生活習慣病が改善されなければ, 長期予後は改善しません。心疾患の治療は「手術して, はい終わり」, ではだめだということです。

心臓リハビリテーション(心リハ)とは

WHOの定義では「患者が可能な限り良好な,

身体的, 精神的, 社会的状態を確保するために必要な行動の総和であり, 患者自身の努力により社会・地域生活におけるできるだけ質の高い地位を確保すること」と述べられています。対象は, 「心筋梗塞(AMI), 狭心症, 開心術後, 心不全, 大動脈疾患, 閉塞性動脈硬化症(ASO)」といったすでに器質的疾患を持つ方, またその予備群である冠危険因子を有する方々です。つまり, 前者に対する治療と再発予防, 後者に対する予防的介入が心リハです(注: 保険適応は前者のみです)。

リハビリテーションというと「運動療法」と考えがちですが, 心リハはそれだけではなく, 病気の評価, 冠危険因子の是正, 教育・カウンセリングなどすべて含めた「包括的プログラム」といえます。

心リハの施行時期は?

発症後早期から退院後, そして一生を通じて継続していきます。

心リハの効果

主な生命予後指標をすべて改善するといっても過言ではないといわれています。呼吸循環・運動耐用量, 心ポンプ機能, 動脈硬化促進因子, 神経体液性因子, 血栓形成, 精神的ストレスなどに対してのエビデンスがすでに確立されています。

保険診療について

1単位(20分)あたり, 施設基準Ⅰの施設では205点, Ⅱの施設では105点, 算定基準上限は原則150点です。

心疾患の方にはどんな運動がいいのでしょうか?

運動の「種類」「強度」「頻度」「期間」を明確にして処方を行います。有酸素運動が望ましく, 近年ではレジスタンストレーニング(筋トレ)も行っています。強度は「嫌気性代謝閾値(AT: 好氣的代謝に無機的代謝が加わる直前の運動強度)」

が推奨されています。ATの計測には呼気ガス分析装置(CPX)が必要ですが、安静・運動時の心拍数や、自覚的運動強度(Borg scale)等を用いて、ATの代用とすることも可能です。「おしゃべりしながらできる運動」が適切といえます。

疾患別心リハについて

AMIや開心術後・大血管術後の心リハは、主に各施設ごとのクリニカルパスに従い行われています。しかし、心不全については個別に対応することが多く、またASOについては、いまだ施行施設が少ないこともあり、以下に少し詳しく述べたいと思います。

①心不全

「心臓が疲れる前に休む」が原則です。体重、運動前後の血圧測定等の「自己管理(セルフモニタリング)」を徹底させ、運動だけでなく日常生活も含めてoverworkにならないよう細かく指導します。

(実施例)広範囲前壁のMIでEF 30%の70代男性。当初は自宅生活で心不全を繰り返していましたが、心リハ施行後は、以前と同様農業に復帰することができ、再燃なく経過しています。

②ASO

冠危険因子のコントロールと禁煙指導、そして運動療法を行います。運動療法はトレッドミルにて2.4km/h、傾斜12%の歩行より開始し、かなりつらい程度の下肢痛が出るまで歩きます。疼痛が消失するまで休み、再び歩く…を繰り返す、10分以上歩行可能となれば強度を上げます。

(実施例)右膝窩動脈の完全閉塞で、手術適応なしと判断された60代男性。50mで間欠性跛行が出現していましたが、心リハ施行にて現在は毎日5～6km、症状なく歩いています。

生活指導について

急激な心拍数・血圧の上昇を予防していきます。排便や重い物を持つ時など「息こらえ」をおこさないよう注意させ、風呂の温度、入り方の指導も行います。また、活動は、食直後は避け、

寒暖の差に注意し、余裕をもって行動するよう指導します。

心理的カウンセリングも必要です

心疾患の方はうつ病を合併する率が高いといわれています。また、type D パーソナリティ(ネガティブ感情、抑圧的対処行動)は心疾患の発症、増悪と関連があるともいわれています。

国内・県内の現状

いまだ循環器科を有する施設での実施率は半分以下ですが、都市部を中心に年々広がっています。県内でも、年々実施施設は増加しており、入院、外来で心リハを行っています。

日本心臓リハビリテーション学会 HP:

<http://square.umin.ac.jp/jacr/>

(終章) Aさんのその後…

今回は心リハをうけたAさん。入院中からPT・OTの指導下で運動を行い、病気や運動の仕方について勉強。心リハ手帳を用いて自己管理を毎日行い、生活・栄養・薬剤指導も受けました。調子の悪い時の対処法を本人、家族とも理解したので退院後も安心です。仕事を再開しましたが、定期的に休憩をとり、調子の悪い時は休んでいます。家族の協力で、食事でも減塩、適切な量で食べています。時々仲間と小旅行にも行き、その後は再発なく幸せに…。

番外編：腎臓リハビリテーション(腎リハ)について

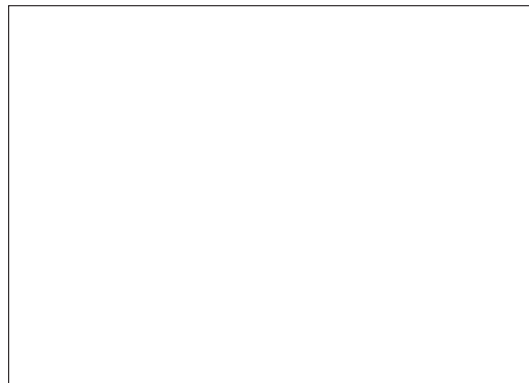
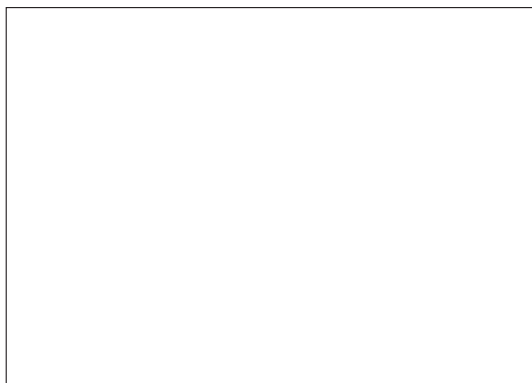
近年では慢性腎不全や透析患者さんに対する腎リハも行われています。

日本腎臓リハビリテーション学会 HP:

<http://jarr.jimdo.com/>

<参考文献>

- 1) 長山雅俊編著, 心臓リハビリ 心臓病の悪化, 再発を防ぐ, 講談社, 2014
- 2) 上月正博編著, 心臓リハビリテーション, 医師薬出版株式会社, 2013



宮大医学部学生のページ

サークル紹介ー MPCC(Miyazaki Primary Care Circle)ー

宮崎大学医学部医学科6年 ^{はら}原 ^お尾 ^{たく}拓 ^{ろう}朗

1, MPCCとは

MPCCは2013年に数名の有志により結成された医療系サークルで、その名の通り、プライマリ・ケア、総合診療医学分野の勉強会を中心に活動しているサークルです。活動理念として「講義・実習で学習した基礎医学と臨床医学を基に、自らの考えをアウトプットする場であること。低学年から高学年までそれぞれの知識レベルに応じて学習でき、互いに教え合える場であること。勉強をしたいと思った人が勉強したいと思ったときに、気軽に参加できる場であること。」を掲げ、顧問の岡山昭彦教授のもと、学生が主体となって勉強会やセミナーを開催しています。

2, 活動内容

①定例勉強会

学生が持ち回りで症例を提示し、その症例検討を通して問診・身体所見・鑑別診断・検査といった臨床推論のプロセスを学習します。簡単に病態・疾患が推測できないケースでも、学生同士で知恵を絞りながら少しずつその正体に迫っていく中で、診断学の面白さを実感することができます。勉強会の趣旨上、主に医学科4年生以上の高学年を対象とした内容になっていますが、低学年のうちから参加してくれる意識の高い学生には症例検討時の患者役を任せたり、興味のある疾患・基礎医学知識などについて調べたことを発表してもらったりと、それぞれが活躍できる場を設けています。

②セミナー主催

年1回、鹿児島大学との持ち回りで九州総合内科セミナーを開催しています。徳田

安春先生(地域医療機能推進機構本部研修センター長)をはじめ、プライマリ・ケアの分野において全国的に活躍されている講師の先生方をお呼びし、医学生や若手医師に総合内科のエッセンスを2日間みっちり伝授していただきます。毎年大変好評のセミナーで、県内外問わず多数のご参加をいただいています。

③外部勉強会・講習会への参加

宮崎大学医学部または県立宮崎病院で開催される宮崎救急プライマリ・ケア研究会、鹿児島大学主催の各種勉強会、Skypeを用いた他大学とのWebカンファレンス、九州EBMワークショップなどにも参加し、外部とのつながりも少しずつ広がってきています。また、今年2月に宮崎県医師会館で開催された第10回日本プライマリ・ケア連合学会九州支部総会・講習会にも参加し、ナイトセッションのプレ講習会では学生が進行役となり、プライマリ・ケアの現場で活躍する医師やコメディカルの方々とディスカッションを行いました。

3, 終わりに

MPCCは部員それぞれが自分のペースで楽しく勉強をしているサークルです。まだ規模も大きくなく発展途上ではありますが、せっかく立ち上がったこの団体を大事に育てて、宮崎県の地域医療を担う医学生・若手医師育成にほんの少しでも寄与できればと考えております。今後とも宮崎県医師会の先生方のご指導と温かいご支援をよろしくお願いいたします。



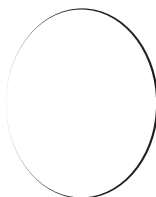
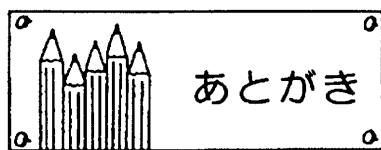
医師年金ご加入のおすすめ

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会にお問い合わせください。また、MMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。県医師会地域医療課（TEL 0985-22-5118）までご連絡ください。

送付日	文 書 名
3月17日	・第24回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」（平成27年7月4日～5日）の開催について
3月19日	・医療事故情報収集等事業「医療安全情報№100」の提供について（通知）
3月20日	・平成27年度宮崎県精神科救急医療システムに係る当番病院について（通知） ・NBCR 対策推進機構平成27年度「テロ対策講演会—東京オリンピック・パラリンピック開催に備えて—」、「東京オリンピックに備えてのCBRNE 災害対策医療講習会」および「放射線テロ・放射線災害対策担当者養成講習会」の開催について ・「全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議」資料の送付について（平成27年3月2日・3日開催） ・平成27年度認知症介護研修事業の実施について（通知）
3月23日	・『第6回あじさいネット研究会』の開催について（周知方ご依頼） ・「厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法の一部改正等に伴う実施上の留意事項について」の一部改正について ・「厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法第一項第五号の規定に基づき厚生労働大臣が別に定める患者について」の一部改正について
3月24日	・麻しん及び風しんの定期接種（第2期）対象者に対する積極的な勧奨等について ・平成27年度における日本脳炎の定期的予防接種の積極的勧奨の取扱いについて ・疾病、障害及び死因の統計分類の改正に関する告示について
3月26日	・共済組合員証の無効通知について ・民間医療施設における埋設ガス管等の耐震化の推進について
3月27日	・麻薬及び向精神薬取締法違反事例について ・平成26年度日本医学会分科会への新規加盟について
3月30日	・「感染症の診査に関する協議会条例の一部を改正する条例」の施行について（通知） ・指定介護老人福祉施設等における入所の取扱いに関する指針の送付について ・感染性廃棄物容器評価事業リーフレットの送付について ・インフルエンザ及びノロウイルス感染症の院内感染に関する保健所への報告及び相談について ・肝炎治療特別促進事業におけるダクルインザ錠及びスンベプラカプセルの取扱いについて ・平成27年度全国安全週間の実施に伴う協力依頼について ・アレルギー疾患対応資料の配布について（情報提供） ・地域医療情報システム(JMAP)の更新について ・「使用上の注意」の改訂について ・PMDA ホームページのリニューアルについて ・PMDA メディナビの普及及び利用促進について

送付日	文 書 名
3 月 31日	・ 特定 B 型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法に基づく給付金制度の周知・広報のためのリーフレット等の送付等について ・ 十二指腸鏡による多剤耐性菌の伝播について ・ 感染症指定医療機関の指定について(通知) ・ 世界保健機関西太平洋事務局による麻しん排除の認定について
4 月 1 日	・ 世界保健機関西太平洋事務局による麻しんの排除認定について ・ 後期高齢者に係る健康診査の受診率向上に対する御理解と御協力について(依頼) ・ 平成 27年度重複・頻回訪問指導事業への御理解と御協力について(依頼)
4 月 3 日	・ 平成 27年 4 月以降の地域加算の取扱いについて ・ 公知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて ・ 使用薬剤の薬価(薬価基準)等の一部改正について ・ 東日本大震災に伴う保険診療の特例措置の期間延長等について ・ 消防法施行令の一部を改正する政令等の運用について(通知)
4 月 6 日	・ 十二指腸鏡による多剤耐性菌の伝播について(通知) ・ 厚生労働省「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」の改訂について ・ 「病原微生物検出情報」の送付について ・ 特定医療費(指定難病)支給認定に関する留意点について ・ 終末期医療の決定プロセスに関するガイドラインの改訂について(通知) ・ 医療事故情報収集等事業第 40回報告書の公表について(通知)
4 月 7 日	・ 「献血血液の研究開発等での使用に関する指針」の一部改正について ・ 医療機関等からの医薬品、医療機器又は再生医療等製品についての副作用、感染症及び不具合報告の実施要領の改訂について ・ 「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業第 12回集計報告」の周知について ・ 保健師助産師看護師法第 3 条の 2 第 2 項第 1 号に規定する特定行為及び同項第 4 号に規定する特定行為研修に関する省令の施行等について ・ 「指定訪問看護の事業の人員及び運営に関する基準について」の一部改正について ・ 「介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針の全部を改正する件(告示)」の送付について ・ 「介護職員処遇改善加算に関する取扱い」の送付について ・ 「介護職員処遇改善加算に関する基本的な考え方並びに事務処理手順及び様式例の提示について」の送付について ・ 地域医療構想策定ガイドライン等について ・ 介護保険の地域支援事業における在宅医療・介護連携推進事業の手引きについて ・ 融雪出水期における防災態勢の強化について
4 月 9 日	・ 「医療機関外の場所で行う健康診断の取扱いについて」の改正について ・ エリグルスタット酒石酸塩製剤の使用に当たっての留意事項について ・ コリスチンメタンスルホン酸ナトリウム点滴静注用製剤の使用に当たっての留意事項について ・ 舌下投与用ダニエキス原末製剤の使用に当たっての留意事項について ・ 血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針(基本方針)第八に定める血液製剤代替医薬品について ・ 一般用検査薬への転用ガイドライン案の作成について ・ 再生医療等製品の市販直後調査の実施方法等について ・ 医療養医薬品への新バーコード表示に伴う JAN / IT F コード表示の終了及び新バーコードの活用について ・ 「使用上の注意」の改訂について ・ 生活保護法の医療扶助における後発医薬品の使用促進について



新年度になり、広報委員会も学生委員が進級し2名が交替しました。担当理事と事務局も含め1名の当委員会ですが、そのうちの4名が学生委員です。この4名の存在が実に大きい。毎回の編集会議でも、医師でも一般人でもない立場からの意見は、時に編集方針の決定打になることもあります。また消費税やTPPを

テーマにした若手マスコミ記者との勉強会では、納得のプレゼンテーションで会を締めてくれました。

さて、日州医事は毎月編集委員会を開き、時代に遅れることなく、また医師会員の要求に的確に応えた内容になるよう検討を積み重ねておりますが、その一環で、今月号からは「宮大医学部学生のページ」を通年で掲載することになりました。これも学生委員がいればこそこの企画です。これまでは、学園祭の紹介記事がメインでしたが、これからは一年を通して発信してもらい、サークル活動や学生としての研究活動、はたまた今時の学生気質など紹介していきたいと思います。是非ご自身の若いころを思い出し、あるいは進化したキャンパスライフに驚いていただきたいと思います。

その他にも誌面充実のために様々な企画を検討中です。例えば「私の本」コーナーや、感動した書籍・映画・音楽等々の紹介ページなどいかがでしょうか。意外な方に執筆をお願いしてみたいものです。それもこれも会員の皆様のご協力・ご投稿が大前提です。「あの方に取材してみたら」などの情報も大歓迎です。どしどしご意見をお寄せください。(上野)

＊ ＊ ＊ ＊ ＊

西都原の桜、菜の花も終わり、日ごとに暖かい風が頬をなでようになってきました。色鮮やかな宮崎の季節です。診療中は一日中机に向かっているのを感じませんが、天気の良い休診日はうずうずしてどこかへ行きたくてしょうがありません。おいしい食材も出てきました。完熟マンゴーの初競りが20万近くしたのはびっくりです。日向夏、5月にはスイートコーン、等々…わくわくします。さあ、宮崎の春～初夏を満喫しましょう！(釜付)

＊ ＊ ＊

今年の大河ドラマ「花燃ゆ」の視聴率は低めですが、ことオープニングテーマ曲については、篤姫・風林火山・龍馬伝にも負けず劣らずよく仕上がっています。今回は音楽と映像のマッチングもいいです。男性コーラスも留魂録に弟子たちへの思いを書いた「愚かなる吾れをも友とめづ人はわがとも友とめでよ人々」となっています。テーマ曲はその頃の時代の思い出にもなるので、早送りせずに聞いてみると心の財産になりますよ。(上園)

＊ ＊ ＊

兄が結婚することとなり、先日、結納に出席してきました。大人になった頼もしい兄の姿を見ると、安堵のような嬉しさのような感情が溢れてきました。

兄はとても優しい人です。五年程前には、車に轢かれた野良猫を見付けて動物病院へ連れて行き、半身不随になってしまっ

た猫を、引き取ったこともありました。そんな優しい兄ですから、奥さんを大切に、着実に幸せを築いていくことと思います。(上條)

＊ ＊ ＊

宮崎大学医学部医学科4年生の押川と申します。今年の4月から広報委員を務めさせていただいております。出身は川南町で、実家では少ないながら牛を飼っております。牛養いのできる医学部生はそうそういないだろうと密かに自負しております。文章校正のような細やかさが要求される仕事は正直言って苦手分野ですが、頼れる先輩方にならい、早く仕事を覚えて戦力となれるよう頑張りたいと思います。これから2年間どうぞよろしくお願いいたします。(押川)

＊ ＊ ＊

第29回日本医学会総会2015関西に行ってきました。「医療とIT」のセッションでは、ひとり1台のタブレットが貸し出され、スクリーンに連動したスライドを手元で見ることができ便利でした。講演の途中で講師のアンケートに参加者が回答を入力し、他の参加者の考えが即座に集計されるのは大学の講義などでも取り入れたらよいと思いましたが、同時に講演中に画面の半分に参加者の講演に対するリアルタイムの感想がチャットで表示されるのは自分が演者なら遠慮したい…(^_^)と思いました。(荒木)

＊ ＊ ＊

今月のトピックス

エコー・リレー 海礼賛 魚のいない川

医師国保組合だより 第 19 回歩こう会に参加して

この欄で取り上げることの少ない「エコー・リレー」ですが、今回は入澤壮吉先生、由浅充崇先生がそれぞれに宮崎の海の幸と川の幸を取り上げています。宮崎牛だけでなく、豊富な魚介類もまた郷土の誇るうまいもんだと再認識です。

合わせて、「医師国保組合だより」も是非ご一読を。県北に数多く存在する「日本の 100 選」を佐藤信博先生が紹介しています。「にほんの里」「島の宝」「日本の歴史公園」「夜景」「日本の滝」「かおり風景」この他にもたくさんの 100 選があるようです。高速道路も開通し、今年は県北を旅してみたくなりました。

11, 30 ページ

お知らせ 「はまゆう随筆」原稿募集、第 16 回宮崎県医師会医家芸術展作品募集！

毎年好評をいただいている「はまゆう随筆」の原稿を募集します。また、医家芸術展の作品は日州医事の表紙も飾っていただいています。

今年もたくさんの皆様のご応募をお待ちしています。

13, 17 ページ

診療メモ 「心臓が悪くても元気で長生きできる！」

～心臓リハビリテーションのすすめ～

心臓に病気を抱えたら、「無理はしないで」はもう過去のこと。過度の安静は患者さんの QOL を下げてしまい、かえって生活習慣病を悪化させ、心事故の再発率も上げてしまうとのこと。「運動療法」だけでなく病気の評価、冠危険因子の是正、教育・カウンセリングなどすべて含めた「包括的プログラム」が心リハなのだそうです。江南病院の渡邊玲子先生による解説です。

66 ページ

日 州 医 事 第 78 号（平成 27 年 5 月号）（毎月 1 回 10 日発行）

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550

<http://www.iyazakimedor.jp/> E-mail office@iyazakimedor.jp

代表者 河 野 雅 行

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 上野 満・副委員長 釜付 弘志、沖田 和久

委 員 篠原 立大、上園 繁弘、上條 苑子、押川 隆

大野 妙子、西田 隆昭、岡本健太郎、枝元 真人、佐井 佳世

担当副会長 富田 雄二・担当理事 荒木 早苗、佐々木 究

事務局 学術広報課 瀬戸山千春、牧野 諭

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350 円（但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります）